

平成31年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	31年度		30年度		増△減(31-30)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	区役所職員人材育成事業	722	722	600	600	122	122
2	区民に身近な広聴・相談事業	2,473	2,473	2,573	2,573	△ 100	△ 100
3	効果的で分かりやすい広報事業	1,516	1,044	2,499	2,027	△ 983	△ 983
4	区民意識調査事業	4,523	4,523	0	0	4,523	4,523
5	区制80周年記念関連事業	4,862	4,862	2,000	2,000	2,862	2,862
6	旧東海道魅力アップ推進事業 (前年度：歴史を生かしたまち育て事業)	1,122	1,122	174	174	948	948
7	とつかブランド向上事業	685	685	720	720	△ 35	△ 35
8	とつか環境未来エコライフ事業	1,200	1,200	1,600	1,600	△ 400	△ 400
9	とつかものづくり支援事業	1,945	1,945	1,855	1,855	90	90
10	活気あるとつか商店街支援事業	550	550	600	600	△ 50	△ 50
11	とつか花できれいなまちづくり事業	4,581	4,581	1,070	1,070	3,511	3,511
12	とつか地域づくり支援事業	1,050	1,050	500	500	550	550
13	美化推進事業	1,375	1,375	1,320	1,320	55	55
14	戸塚区民まつり事業	3,754	3,754	3,221	3,221	533	533
15	自治会町内会連絡調整事業	3,071	3,071	2,418	2,418	653	653
16	とつか魅力再発見事業	649	324	1,095	770	△ 446	△ 446
17	「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業	11,810	11,810	7,058	7,058	4,752	4,752
18	防犯力強化事業	4,033	4,033	4,560	4,560	△ 527	△ 527
19	交通安全・放置自転車対策事業	5,171	5,171	5,134	5,134	37	37
20	区民活動支援事業	7,988	7,988	8,212	8,212	△ 224	△ 224
21	地域文化振興事業	1,300	1,300	1,300	1,300	0	0
22	とつか音楽の街づくり事業	3,200	3,200	3,000	3,000	200	200
23	スポーツ・レクリエーション振興事業	1,114	1,114	500	500	614	614
24	区内女子スポーツ普及・応援事業	1,538	1,538	1,560	1,560	△ 22	△ 22
25	青少年健全育成事業	1,849	1,849	1,620	1,620	229	229
26	子育て応援事業	4,496	4,496	4,571	4,571	△ 75	△ 75
27	保育所地域子育てパワーアップ事業	2,353	2,293	1,722	1,662	631	631
28	子どもを取り巻く虐待予防環境づくり事業	2,112	2,112	1,794	1,794	318	318

平成31年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	31年度		30年度		増△減(31-30)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
29	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	8,558	8,558	6,402	6,402	2,156	2,156
30	とつか健康パワーアップ事業	2,601	2,601	1,549	1,549	1,052	1,052
31	大学と連携した子ども健康づくり事業	1,361	1,361	1,198	1,198	163	163
32	子育て家庭のヘルスアップ事業	933	933	841	841	92	92
33	とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)推進事業	4,822	4,822	4,341	4,341	481	481
34	～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業	992	992	983	983	9	9
35	戸塚区高齢者見守りネットワーク事業	3,161	3,161	2,072	2,072	1,089	1,089
36	食と暮らしの安全・安心応援事業 (前年度：快適な暮らし応援事業～食の安全・生活衛生の強化～)	1,163	1,163	517	517	646	646

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 総務課]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上 その他	事業開始年度	平成6年度
------	------------------	---------	-----------------	--------	-------

事業名	区役所職員人材育成事業	特記事項	中期計画-38の政策		事業評価 書番号	1
			政策番号	主な施策番号		
		中期計画-行政運営			事業評価 書番号	
		中期計画-財政運営				
		重点事業				
		新規・拡充				
		温暖化対策関連事業				

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	722					722
前年度	600					600
増△減	122	0	0	0	0	122

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	920	940	630	予算	事業費	722	722
	メリット+一般財源	920	940	630		一般財源	722	722
決算	事業費	950	931	646	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	950	931	646				

事業の概要 (目的)	<p>〈職員研修〉業務に必要な知識やサービス向上のための方法を学び区民サービスの向上を図ります。</p> <p>〈人権啓発推進事業〉区民及び職員を対象に人権講演会及び人権啓発研修を実施し「一人ひとりの市民が人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現」を目指します。</p>
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>毎年実施している窓口サービス満足度調査結果を分析することにより、その結果を分析し継続的にサービス向上を図ります。また、地域向けの人権啓発講演会時にアンケートを実施し、区民の人権に対するニーズ等を把握し、ニーズに合った内容により継続して啓発していきます。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	横浜市職員研修規定第8条、横浜市人権啓発基本方針、横浜市人権啓発研修推進要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

《窓口サービス満足度調査結果》

	職員の あいさつ	職員の 身だしなみ	職員の 言葉づかい	職員の 聞く態度	職員の 説明	待ち時間 の長さ	待合場所の 快適さ
27年度	97.0%	95.0%	98.0%	96.3%	93.7%	92.7%	97.7%
28年度	98.0%	97.0%	98.3%	97.3%	96.7%	95.0%	98.7%
29年度	98.7%	99.0%	99.7%	98.7%	96.7%	91.7%	98.0%

※数字はアンケート回答内の「満足」「やや満足」を合計した値

《戸塚区人権啓発講演会》 (単位：人)

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績
参加人数	227	186	257	254	235
講師	横田 滋・早紀江さん (拉致被害者家族)	マリ・クリスティエスさん (女性の目でみたまちづくり)	安川 雅史さん (子どもたちや地域社会を取り巻くネット環境)	二條 実穂さん (車椅子テニス選手)	青木 辰子さん (元チェアスキーヤー、現車いすアーチェリー選手)

- 【実施内容】
- 《職員研修》
- ・人材育成研修:職員のサービスレベル、業務遂行能力などスキルアップための研修を実施(通年)
 - ・業務知識向上研修:専門職職員の業務知識向上研修を実施(通年)
- 《人権啓発推進事業》
- ・人権啓発講演会:区民を対象にした講演会を実施(2月予定)
 - ・責任職等人権研修:責任職対象の人権研修と、責任職による職員対象研修の実施(6月～1月予定)

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
職員研修	自 352	自 332	20	実績に基づく増
人権啓発推進事業	自 370	自 268	102	実績に基づく増
			0	
事業費合計	722	600	122	
内 自主企画事業費	722	600	122	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

窓口サービス満足度調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	齋藤 真美奈	山崎 信吾	松村 歩未

(戸塚 区 - 1)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度 事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 区政推進 課]

No.	2
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名
区民に身近な広聴・相談事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,473					2,473
前年度	2,573					2,573
増△減	△ 100	0	0	0	0	△ 100

歳出		27年度	28年度	29年度
予	事業費	2,541	2,541	4,688
算	メリット+一般財源	2,541	2,541	4,688
決	事業費	3,658	2,344	4,494
算	メリット+一般財源	3,658	2,344	4,494

歳出		32年度	33年度
予	事業費	2,473	2,473
算	一般財源	2,473	2,473

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	区民の皆様からの要望、陳情などの広聴事業により市政への反映、多岐にわたる区民相談に的確に対応するとともに、団体や企業との情報交換と協働推進のため、区長の事業所訪問について引き続き実施します。また、「区政モニター」の活用により、施策等に対する区民の皆様の意向を把握し、施策形成の参考とします。
------------	---

(説明)				
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的な問題を抱えた区民の方々に対して、解決の糸口をつかむための機会を提供する必要があります。 ・ 戸塚区総合庁舎は、区役所機能だけでなく、区民文化センターや行政サービスコーナー、ジョブスポット等、様々な機能を持った総合庁舎であり、地下3階から9階までの各階に様々な部署や機能が複雑に盛り込まれています。そのため、来庁者がスムーズに目的の場所にたどり着けるよう、引き続き充実した庁舎案内を進める必要があります。 ・ 日頃区役所との関わりが少ない若年層の意識や区政へのご意見を積極的に収集し、区の施策の参考とする必要があります。 			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	8 その他	
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」			
3 根拠法令・要綱等	「市民の声」事業の実施に関する取扱要綱、区における総合行政の推進に関する規則			

【実績の推移・今後見込み】

○庁舎案内件数 (戸塚区総合庁舎2階)

(単位：件)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
件数 (実績)	68,301	89,535	90,664	82,611	74,418	93,684

【実施内容】

《広聴事業》

区民の皆様からいただいた御意見、御要望に対する調整・回答
地域振興課や南部農政事務所と連携し、ものづくりに取り組む企業や特徴的な農の取組を行う企業、団体等を区長が訪問・意見交換し、企業・団体等のニーズの把握を行う機会を設けます。(年2回)

《区民向け法律講座》

過去の特別相談からニーズの高いテーマを選定し、講座を開催します。

《庁舎案内》

区民文化センターや交通広場、民間店舗などが併設された総合庁舎における複雑な案内業務に対応するため、引き続き庁舎案内業務の一部を人材派遣会社に委託します。

様式3-1

《区政モニター》

横浜市インターンシップ事業において、戸塚区の職場で受け入れた学生を区政モニターとして登録し、アンケート・座談会への参加や区内イベントのボランティア等の協力を通じて、継続してつながりを持ち、区の施策に学生の視点を取り入れます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広聴事業	自 20	自 55	△ 35	実績による減
区民向け法律講座	自 48	自 98	△ 50	実績による減
庁舎案内	自 2,400	自 2,400	0	前年度同額
区政モニター	自 5	自 20	△ 15	実績による減
事業費合計	2,473	2,573	△ 100	
内 自主企画事業費	2,473	2,573	△ 2,098	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

庁舎案内件数実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談 係
	米満 東一郎	上田 薫子	野山 美奈

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 区政推進 課]

No.	3
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	効果的で分かりやすい広報事業
-----	----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 ○ 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,516		472			1,044
前年度	2,499		472			2,027
増△減	△ 983	0	0	0	0	△ 983

歳出	27年度	28年度	29年度
事業費	1,014	1,014	1,014
メリット+一般財源	515	582	542
決算	1,014	994	1,004
決算	875	651	551

歳出	32年度	33年度
事業費	1,516	1,516
一般財源	1,044	1,044

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民ニーズを反映した重点広報計画を共有し、職員の広報マインドを高めながら、より分かりやすく区政情報を発信していきます。また、様々な広報資源を活用して効果的で分かりやすい広報事業を推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	地域ニーズや課題の多様化に伴い、行政の施策もきめ細かく多様なものとなっていますが、これらの行政情報を確実に伝えることが、区民一人ひとりが抱える課題解決に不可欠です。
----------	--

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	8 その他		
-------------	-----------	-------	--	--

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

○戸塚区ホームページアクセス件数(トップページ単位:件)

	27年度実績	28年度実績	29年度実績
アクセス件数	241,917	223,020	214,221

【実施内容】

《様々なメディアを用いた情報提供》
・区役所ホームページやSNS、コミュニティFM、デジタルサイネージ等、様々なメディアを複合的に活用し、区内の情報をすべての年代にきめ細かく発信します。

《区制80周年記念事業》【再掲】
・平成31年4月に迎える区制80周年を契機に、戸塚に関わるすべての人に対して、戸塚の魅力を知り、戸塚により愛着を持っていただくため、引き続き効果的な広報をすすめます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
様々なメディアを用いた情報提供	自 976	自 999	△ 23	番組制作数の変更に伴う
区制80周年記念事業	自 540	自 1,500	△ 960	記念誌等作成終了による
事業費合計	1,516	2,499	△ 983	
内 自主企画事業費	1,516	2,499	△ 983	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

《様々なメディアを用いた情報提供》過年度ホームページアクセス件数実績
《区制80周年記念事業》区内小中学校在学者数(神奈川県学校基本調査)

様式3-1

本資料は、公正・適正に作成しました。

課長

米満 東一郎

係長

上田 薫子

広報相談 係
田中 健

(戸塚 区 - 3)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 区政推進 課]

No.	4
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成31年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	区民意識調査事業
-----	----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 ○ 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 ○ 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,523					4,523
前年度	0					0
増△減	4,523	0	0	0	0	4,523

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費			
メリット+一般財源			
決算 事業費			
メリット+一般財源			

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	0	0
一般財源	0	0

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区の施策等に対する区民の皆様の意識や意向を統計的にとらえ、「第4期 戸塚区地域福祉保健計画(とつかハートプラン)」の策定や今後の事業の企画立案などの基礎資料とするため、区民意識調査を実施します。また、調査結果については、区民の皆様へわかりやすく提供します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

- ・施策等に対する区民の皆様の意識や意向を統計的にとらえ、施策や事業の企画立案などに生かしていくことが不可欠です。
- ・「第4期 戸塚区地域福祉保健計画(とつかハートプラン)」の策定に向けて、基礎資料として区民の皆様の意識や意向を把握する必要があります。
- ・地域の課題等を経年的に分析し、中長期的な視点で施策や事業を企画立案していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	5 区民アンケート	8 その他
-------------	----------	-----------	-------

2 運営方針等との関係

平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」

3 根拠法令・要綱等

区における総合行政の推進に関する規則

【実績の推移・今後見込み】

回答数(回答率) 29年度:1,593(53.1%) 26年度:1,607(53.6%) 23年度:1,680(56.0%)
※実施対象者は各年度すべて16歳以上の戸塚区民3,000人(住民基本台帳から無作為抽出)

【実施内容】

施策に対する区民の皆様の意向等を把握するために意識調査を実施し、調査結果データを丁寧に分析・活用して、「第4期戸塚区地域福祉保健計画(とつかハートプラン)」の策定をはじめとする施策形成に、区民の皆様の意向等を的確に反映させます。

実施時期:平成31年7~8月頃(予定)、実施対象者:区内に居住する16歳以上8,000人
調査結果を「第4期戸塚区地域福祉保健計画(とつかハートプラン)」の策定に生かすため、当該計画の検討時期に合わせて調査を実施し、従来調査より詳細なエリア設定で分析が行えるよう対象者数を増やします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民意識調査	自 4,523	自 0	4,523	区民意識調査実施による増
事業費合計	4,523	0	4,523	
内 自主企画事業費	4,523	0	4,523	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市民意識調査、戸塚区区民意識調査
横浜市官民データ活用推進基本条例(29年3月制定)、横浜市オープンデータの推進に関する指針(26年3月策定)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 米満 東一郎	係長 林 正隆	企画調整 係 長沼 輝里
--------------------	--------------	------------	-----------------

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 総務課]

No.	5
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成30年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名 区制80周年記念関連事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,862					4,862
前年度	2,000					2,000
増△減	2,862	0	0	0	0	2,862

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	0	0	0	予算	事業費	0	0
	メリット+一般財源	0	0	0		一般財源	0	0
決算	事業費	0	0	0	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	0	0	0	有:件名()、日付(年月)			

(無)

事業の概要 (目的)	平成31年に迎える区制80周年を区民の皆様とともに祝い、とつかに愛着を持ち身近に感じられるよう、とつからしさ、とつかの魅力を生かした記念事業を行います。
---------------	--

(説明)				
1 地域の課題等	戸塚区は、自然や歴史の魅力に加え、文化・スポーツが盛んで、賑わいのあるまちです。80周年をこれまでのとつかの歩みを大切にしつつ、これからのよりよい未来を描く機会と捉えます。			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」			
3 根拠法令・要綱等	戸塚区制80周年記念事業補助金交付要綱			

【実績の推移・今後見込み】

平成29年度：実行委員会設立
 平成30年度：広報・プロモーション（4月～3月）、各イベント（1月～3月）
 平成31年度：広報・プロモーション（4月～11月）、各イベント（4月～11月）

【実施内容】

区制80周年を記念し、とつかに愛着を持ってもらえるような事業、「とつからしさ」や「とつかの魅力」を生かして育てる事業を行います。

《とつかのいいところ発見事業》

- ・新たなSNSツール（インスタグラム、フェイスブック等）を活用して80周年をPRします。
- ・SNSを活用したイベントを実施し、とつかの魅力を発見する機会とするとともに、戸塚区が活用するSNSの利用者（フォロワー）増加につなげます。

《実行委員会》

- ・未来のとつかを作る子ども達をメインに、幅広い世代の区民が参加できるイベントを開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報・プロモーション	重 250	重 1,500	△ 1,250	広報活動一部終了による減
とつかのいいところ発見事業	重 499	重 0	499	新規事業
実行委員会	重 4,113	重 500	3,613	イベント実施による増
			0	
事業費合計	4,862	2,000	2,862	
内 自主企画事業費	4,862	2,000	2,862	
訳 重点事業	4,862	2,000	2,862	

様式3-1

【根拠とするデータ等】
データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	齋藤 真美奈	山崎 信吾	杉山 晴香

(戸塚 区 - 5)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 区政推進 課]

No.	6
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成23年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
旧東海道魅力アップ推進事業 【前年度：歴史を生かしたまち育て事業】

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	7

事業評価書番号	4
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,122					1,122
前年度	174					174
増△減	948	0	0	0	0	948

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	1,750	862	672
メリット+一般財源	1,750	862	672
決算 事業費	882	753	639
メリット+一般財源	882	753	639

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	672	672
一般財源	672	672

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	旧東海道の宿場町に代表される戸塚区ならではの歴史を生かし、区制80周年を記念して現在設置されている旧東海道案内サインを戸塚宿エリアを中心に更新することで、より魅力あるまちづくりを区民の方々と協働で進めます。
-----------	---

(説明)			
1 地域の課題等	東海道五十三次・戸塚宿として400年以上の歴史を持つ戸塚区は、戸塚駅周辺の再開発事業により戸塚のまちの東西が繋がりと、大きくまちの姿が変わりました。このことを契機とするとともに、今後も旧東海道戸塚宿という歴史資源を活用し、まちづくりの主体である地域の盛り上がり高めを必要があります。 また、近年、旧東海道をウォーキングする方が増え、市内外から多くの方が戸塚区を訪れており、マップや、旧東海道沿道の情報を得られる場所の整備が望まれています。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」		
3 根拠法令・要綱等			

【実績の推移・今後見込み】

19年度：「戸塚駅周辺地区における旧東海道まちづくり検討委員会」を開催し、駅周辺地区におけるまちづくり計画を策定
20～21年度：旧東海道の散策マップを作成・配布するとともに、道案内・歴史案内サインを設置
23～24年度：旧東海道を生かした取組を地域主体で検討する場としてワークショップ等を開催
25年度：前2か年度に実施したワークショップの成果を生かした区民の方々と協働による、旧東海道の魅力発信
26年度：区民団体や区民の方々と協働により、お休み処の運営やパネル展・イベントを実施
27年度：旧東海道の道が分かりにくい場所に案内板設置、区民と協働でとつか宿場まつりを初開催 【来場者数約1,300人】
28～30年度：旧東海道パネル展、区民と協働でとつか宿場まつりを開催

・今後の予定
区民の方々と協働でイベント等を実施することにより、地域の歴史的資源を生かした市民交流の促進と、区民の方々が地域の歴史や魅力を再認識し、愛着が持てるまちづくりを推進します。

【実施内容】

- 旧東海道の歴史と魅力を伝える案内サイン整備事業（新規）
区制80周年を記念し、現在設置されている旧東海道案内サインを戸塚宿エリアを中心に更新し、より分かりやすい案内板にすることで旧東海道の歴史や魅力を伝えます。
- 歴史を生かしたまち育て事業
 - 区民主体の旧東海道魅力発信イベントへの協力
より多くの方々に戸塚の魅力を知ってもらい、愛着を持ってもらえるように、区民団体や区民の方々が実施する旧東海道戸塚宿の魅力を発信するとつか宿場まつりに協力をするとともに、併せて旧東海道パネル展を開催し、旧東海道のPRを行います。
 - マップの更新及び増刷
案内サインの更新に伴い、マップのデザインを修正し、「旧東海道戸塚宿の歴史を歩く散策マップ」を増刷します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
旧東海道の歴史と魅力を伝える案内サイン整備事業	重 905	自 0	905	新規事業
歴史を生かしたまち育て事業	重 217	自 174	43	マップデザイン委託に伴う増
事業費合計	1,122	174	948	
内 自主企画事業費	1,122	174	948	
訳 重点事業	1,122	0	1,122	

【根拠とするデータ等】

平成29年度 戸塚区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	米満 東一郎	松丸 未和	萩原 麻紀子

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 区政推進 課]

No.	7
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成26年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	とつかブランド向上事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	5
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	685					685
前年度	720					720
増△減	△ 35	0	0	0	0	△ 35

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	1,200	1,114	650
メリット+一般財源	1,200	1,114	650
決算 事業費	1,164	994	621
メリット+一般財源	1,164	994	621

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	685	685
一般財源	685	685

方針に関する決裁 種別()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	戸塚の魅力の1つである“おいしいもの”を「おいしいもの とつかブランド」として認定し、区内を巡ったり、戸塚区に訪れていただくなどの機会を生み出し、地域の活性化と戸塚のブランド力向上を図ります。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等

26年度に区制75周年関連事業として「おいしいもの とつかブランド」を認定し、4年が経過した30年度には追加募集などリニューアルを行いました。ブランドの認知度は27.4% (29年度戸塚区民意識調査) にとどまっていることから、区制80周年を契機として認知度を高めていくことが課題となっています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係

平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

各年度の主な取組

- 27年度 PR冊子を作成 (発行部数10,000部)
- 28年度 ホームページを作成 (インターンシップで受け入れた学生などの協力を得て作成)
- 29年度 スタンプラリーを開催
- 30年度 認定品の追加認定 (追加にあたっては、区内大学の学生お薦め枠を新設)

【実施内容】

区制80周年関連事業として位置づけ、様々な機会を活用してPRを行います。

- ・30年度の認定品の追加認定に伴い、新たなPR冊子を発行するとともに、ホームページを更新します。
- ・区民まつり等に「おいしいもの とつかブランド」のブースを出展し、認定店舗による販売や冊子の配布などを行います。
- ・「おいしいもの とつかブランド」のPRと合わせて、認定店舗の協力を得て、区制80周年を盛り上げます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「おいしいもの とつかブランド」の魅力向上	自 685	自 510	175	PR冊子の印刷に伴う増
下川町との友好協定を生かした地域活性化	自 0	自 210	△ 210	事業終了
			0	
事業費合計	685	720	△ 35	
内訳 自主企画事業費	685	720	△ 35	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

平成29年度 戸塚区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	米満 東一郎	林 正隆	萩原 麻紀子

(戸塚 区 - 7)

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成21年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	とつか環境未来エコライフ事業
-----	----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
12	1, 3

事業評価書番号	6
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,200					1,200
前年度	1,600					1,600
増△減	△ 400	0	0	0	0	△ 400

歳出	27年度	28年度	29年度
事業費	2,150	2,450	2,000
メリット+一般財源	2,150	2,450	2,000
決算			
事業費	2,002	1,689	1,761
メリット+一般財源	2,002	1,689	1,761

歳出	32年度	33年度
事業費	1,200	1,200
一般財源	1,200	1,200

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月日)
無

事業の概要(目的)	区民の皆様一人ひとりが脱温暖化行動に取り組む雰囲気を醸成し、脱温暖化行動を生活に定着させるとともに、SDGsの視点を踏まえて幅広い関係者の連携による取組を進めます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

脱温暖化に向けた取組をこれまで以上に進めていくには、エコ活動に熱心な地域の団体や人材等と協働しながら、環境に関する先進的な取組をより一層推進していく必要があります。
また、横浜市は30年6月に「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの達成に向けて区も役割を果たすことが期待されています。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	6 区民要望		
-------------	-----------	--------	--	--

2 運営方針等との関係 平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市環境未来都市推進計画、横浜市地球温暖化対策実行計画

【実績の推移・今後見込み】

各種取組実施時のアンケートにおいて、脱温暖化行動の重要性への認識がされるとともに、行動のきっかけづくりができています。

【実施内容】

《エコ普及・啓発事業》
とつかエココーディネーター協議会等と協働で、エコイベントや環境パネル展を実施します。
《SDGsの推進》
区内の地域団体や企業のSDGsに関わる取組を紹介する冊子の作成や展示イベントを実施し、地域におけるSDGsの取組を推進します。
また、SDGs未来都市である北海道下川町と23年度に締結した友好交流協定に基づき交流を深めます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とつかエココーディネーター活動支援	重 0	自 500	△ 500	補助金の終了による減
エコ普及・啓発事業	重 700	自 1,000	△ 300	実績による減
環境未来都市交流	重 0	自 100	△ 100	SDGsの推進に統合
SDGsの推進	重 500	自 0	500	新規事業
事業費合計	1,200	1,600	△ 400	
内 自主企画事業費	1,200	1,600	△ 400	
訳 重点事業	1,200	0	1,200	

【根拠とするデータ等】

平成29年度環境に関する市民意識調査（環境創造局実施）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	米満 東一朗	林 正隆	長沼 輝里

(戸塚 区 - 8)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	9
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成24年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	とつかものづくり支援事業
-----	--------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	9
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,945					1,945
前年度	1,855					1,855
増△減	90	0	0	0	0	90

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	1,300	1,300	1,563
メリット+一般財源	1,300	1,300	1,563
決算 事業費	1,226	1,432	2,004
メリット+一般財源	1,226	1,432	2,004

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	2,000	2,000
一般財源	2,000	2,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	高度なものづくり技術や独創的な製品を持ち、真摯かつ熱心な事業活動を行う中小ものづくり事業者の紹介をととして、販路拡大や雇用維持等の中小ものづくり事業の振興を図ります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	戸塚区の中小ものづくり事業者は、地域の活性化に貢献するとともに、横浜市の税収に貢献しています。しかし、近年は厳しい経営状況に置かれており、中小事業者の取組を区としても支援していく必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	横浜市中企業振興基本条例
------------	--------------

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績
工場さんぽ企業数/参加者数(社/人)	—	—	2/90	5/76	5/36
自慢展出展者数/来場者数(社/人)	11/1200	12/1300	13/1700	13/1800	16/1900 ※見込

【実施内容】

《区内中小製造企業紹介事業》
ヨコハマテクニカルショウの「横浜ものづくりゾーン」に区内の中小製造業について紹介するブースを出展し、区内事業者の優れた技術や製品をPRします。
《戸塚ものづくり自慢展実施事業》
区内中小ものづくり事業者の高い技術を、パネル・展示物や実演等で紹介し、また子ども向け体験コーナー等で実際にその仕事を体感する「とつかものづくり自慢展」を開催します。
《とつか工場さんぽ実施事業》
区民が区内事業者の工場を見学し、製品の製作過程における優れた技術力に触れるとつか工場さんぽを実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区内中小製造企業紹介事業	自 200	自 220	△ 20	事業手法見直しによる減
戸塚ものづくり自慢展実施事業	自 1,720	1,541	179	会場、出展企業拡大による増
とつか工場さんぽ実施事業	自 25	94	△ 69	実績による減
事業費合計	1,945	1,855	90	
内 自主企画事業費	1,945	220	1,725	
訳 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

横浜市内陸部工業集積エリア等実態調査報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	木幡 有希

(戸塚 区 - 9)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	10
-----	----

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成25年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	活気あるとつか商店街支援事業
-----	----------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
1	4

事業評価書番号	10
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	550					550
前年度	600					600
増△減	△ 50	0	0	0	0	△ 50

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	1,300	1,300	1,510
メリット+一般財源	1,300	1,300	1,510
決算 事業費	1,323	1,265	2,314
メリット+一般財源	1,323	1,265	2,314

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	550	550
一般財源	550	550

方針に関する決裁 種別 ()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	戸塚区内の多くの商店街は衰退が懸念されており、経済局の様々な支援策を活用し総合的に支援していくのと同時に、区内の商店街と協力して活気ある商店街づくりを支援します。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>戸塚区には現在12の商店街がありますが、単に経済活動の場だけではなく、イベント等の開催、商店街街灯の維持管理、地域コミュニティの核としての役割を果たしています。このことから、区内の商店街をPRして、活気ある商店街づくりを支援します。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	横浜市中企業振興基本条例、横浜市商店街の活性化に関する条例
------------	-------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

(単位：商店街、店舗)

区商連加盟店舗数		H25	H26	H27	H28	H29	H30
商店街数		12	11	13	12	12	12
加盟店舗数		303	290	416	416	416	465

【実施内容】

《商店街活性化事業》

区民広間などを活用した商店街PR活動を行います。
戸塚ふれあい区民まつりの開催にあわせ、周辺のイベントと連携した商店街活性化の取組みを行います。

《個人商店魅力アップ事業》

個人商店向けにセミナーを開催して、人材育成や販売促進をサポートします。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
商店街活性化事業	自 300	自 300	0	
個人商店魅力アップ事業	自 250	自 300	△ 50	開催回数の見直しによる減
事業費合計	550	600	△ 50	
内訳 自主企画事業費	550	600	△ 50	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

商店街実態調査報告書、消費者購買行動意識調査報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	田中 芳晴

(戸塚 区 - 10)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 土木事務所 課]

No.	11
-----	----

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成30年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名
とつか花できれいなまちづくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
9	3

事業評価書番号	
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,581					4,581
前年度	1,070					1,070
増△減	3,511	0	0	0	0	3,511

歳出	27年度	28年度	29年度
予算			
事業費			
メリット+一般財源			
決算			
事業費			
メリット+一般財源			

歳出	32年度	33年度
予算		
事業費	2,600	2,600
一般財源	2,600	2,600

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	戸塚区内の鉄道駅とその周辺の道路、河川、公園等において、花植え等の活動を行うことで、まちの美化を図るとともに、それらの活動を通じ地域の生活環境を大切にする風土と地域の絆を醸成する。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	
「花できれいなまちづくり」の進め方については、地域や団体ごとに様々な考え方があります。本事業開始前から、このような活動を行っている地域や団体もあるため、その考えを尊重し、活動に合った支援の在り方を検討していく必要があります。	
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	花できれいなまちづくり事業要綱

【実績の推移・今後見込み】

平成30年度は、戸塚駅では各種団体が集まり「花さかクラブ」を設立し、花植え等の活動を行っています。また、東戸塚駅では、地域の団体による活動を支援しています。
平成31年度は舞岡駅で「花さかクラブ」の設立を目指すとともに、踊場駅周辺で、地域に合った支援の在り方を検討します。

【実施内容】

自治会・町内会やハマロードサポーター、水辺愛護会、公園愛護会、福祉団体、企業、商店会などで、地域の実情にあった組み合わせで構成する組織をつくり、定期的に花植えや植栽の維持管理を行い、周辺の歩行者や地域住民を季節の花で迎えます。

【戸塚駅】 戸塚駅花さかクラブの活動を支援（花苗等の提供など）。

【東戸塚駅】 既に活動している地域の団体の活動を支援。

【舞岡駅】 「舞岡駅花さかクラブ」（仮称）の設立及びクラブの活動の支援（花苗等の提供など）。

【踊場駅】 駅周辺の状況、地域の団体やその活動状況を調査し、当該地域に合った支援の検討。

区の玄関口であり、本事業の活動エリアである戸塚駅東口及び西口では、路面や階段の手摺等へのハトの糞害が酷く、苦情も多く寄せられています。また、戸塚駅花さかクラブからも、ハトの糞害対策要望がでています。

そこで、このような状況を解消し、「花できれいなまち」を実現していくため、戸塚駅の東口と西口にハト除け装置を設置します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
花できれいなまちづくり事業	自 4,581	自 1,070	3,511	事業対象エリアの増 糞害対策の増
			0	
事業費合計	4,581	1,070	3,511	
内訳				
自主企画事業費	4,581	1,070	3,511	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理 係
	天野 実	塩田 賢一	藤井 義浩

(戸塚 区 - 11)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 区政推進 課]

No.	12
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	とつか地域づくり支援事業	特記事項	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策	政策番号 33 主な施策番号 1	事業評価書番号	11
-----	--------------	------	--	------------	---------------------	---------	----

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,050					1,050
前年度	500					500
増△減	550	0	0	0	0	550

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,600	1,600	1,050	予算	事業費	1,050	1,050
	メリット+一般財源	1,600	1,600	1,050		一般財源	1,050	1,050
決算	事業費	1,250	1,250	500	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月日)			
	メリット+一般財源	1,250	1,250	500				

事業の概要(目的)	高齢者等への支援活動の調整窓口となり、併せて地域のつながりや担い手確保の舞台となる「地域の居場所」を支援します。
-----------	--

(説明)				
1 地域の課題等	・高齢化の進行に伴い様々な地域課題が発生していますが、「地域の方が気軽に集まり、情報交換できる場」のニーズは各地域にあり、「顔の見える関係」づくりが求められています。			
地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	8 その他	
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「人と人がつながるまちづくり」			
3 根拠法令・要綱等	戸塚区地域の居場所づくり補助金交付要綱			

【実績の推移・今後見込み】

・戸塚区地域の居場所づくり支援事業は、地域で区民が主体となり、住民等が交流し、助け合いながらより良いまちづくりを行って行くことを目的とした居場所の運営を支援する事業であり、その実績は、平成23年度から平成30年度までの間に延13か所に支援を実施しています。平成31年度は4か所の居場所を支援していきます。

【実施内容】

・地域の人々が気軽に集まる場を作ることにより、様々な地域課題解決の基盤となる「顔の見える関係」づくりを進めます。
 《「地域の居場所」運営の支援》
 地域の居場所4か所の運営に必要な経費を支援します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「地域の居場所」運営の支援	自 1,050	自 500	550	地域の取組件数の増
			0	
事業費合計	1,050	500	550	
内 自主企画事業費	1,050	500	550	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	米満 東一郎	奥石 全一	近藤 恭子

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	13
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名 美化推進事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号			
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	<table border="1"> <tr> <td>11</td> <td>1, 3</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1, 2, 3</td> </tr> </table>	11	1, 3	12	1, 2, 3
11	1, 3					
12	1, 2, 3					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,375					1,375
前年度	1,320					1,320
増△減	55	0	0	0	0	55

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	430	474	474	予算	事業費	1,400	1,400
	メリット+一般財源	430	474	474		一般財源	1,400	1,400
決算	事業費	581	886	654	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
算	メリット+一般財源	581	886	654				

事業の概要(目的)	ごみの減量化を目指し、商業施設や大学等へ啓発に出向き、ヨコハマ3R夢プランを推進します。さらに、区内小学校と協働で、街の美化に取り組むと共に、街の美化と3R夢活動に貢献した区民を表彰します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	ヨコハマ3R夢プランの取り組みを推進するため、地域の協力を得ながら、ごみの分別や3R行動の普及啓発を行っていく必要があります。ごみと資源の総量は減少傾向にありますが、家庭ごみに含まれる食品ロスの削減が大きな課題となっています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例 戸塚区環境行動賞「ヨコハマ3R夢」推進功労者区長表彰要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 戸塚区環境行動賞					
	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度見込み
被表彰者/団体数	16名/11団体	14名/8団体	9名/12団体	12名/9団体	15名/15団体
2 「花の小道」事業					
	「花の小道」事業による街の美化を推進します。				
3 3R推進事業					
	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年年度目標
ごみと資源の総量	62,923 t	62,291 t	61,475 t	60,939 t	60,400 t

【実施内容】

《きれいな街づくり推進事業》
 美化・3R夢行動等に取り組む区民を表彰します。また、31年度のごみと資源の排出量削減の目標を設定するため、ヨコハマ3R夢戸塚区推進会議を開催します。
 《「花の小道」事業》
 小学校周辺の歩道に花を植える「花の小道」事業による街の美化を推進します。
 《3R夢推進事業》
 各種イベントでヨコハマ3R夢の啓発活動に取り組みます。また、生ごみ処理器のモニター事業、食材使いきりを推進する3R夢クッキング教室及び食品ロス講演会の実施により、ごみの減量化・資源化を推進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
きれいな街づくり推進事業	自 61	自 51	10	表彰式実施実績に基づく増
「花の小道」事業	自 222	自 200	22	実績に基づく増
3R夢推進事業	自 1,092	自 1,069	23	購入量の見直しによる増
ごみ減量推進事業	300	359	△ 59	購入量の見直しによる減
生ごみ処理器モニター事業	590	560	30	実施回数の増
3R夢クッキング教室事業	152	150	2	会場費の増
食品ロス講演会	50	0	50	新規事業実施による増
事業費合計	1,375	1,320	55	
内訳				
自主企画事業費	1,375	1,320	55	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

横浜市ごみと資源の総量

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	黒川 正人	青田 永吾	田中 芳晴

(戸塚 区 - 13)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 地域振興 課]

No.	14
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	戸塚区民まつり事業
-----	-----------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	13
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,754					3,754
前年度	3,221					3,221
増△減	533	0	0	0	0	533

歳出	27年度	28年度	29年度
事業費	3,250	3,250	3,250
メリット+一般財源	3,250	3,250	3,250
決算	3,207	3,207	3,207
決算	3,207	3,207	3,207

歳出	32年度	33年度
事業費	3,745	3,745
一般財源	3,745	3,745

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民の郷土愛を育て、連帯意識の高揚を図り、ふれあいのある、活気あふれる地域交流を促進するため、戸塚区民まつりを実施します。 また、区民の憩いの場を確保するため、桜の開花時期に合わせ柏尾川周辺の環境整備を実施します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	戸塚区では土地開発が進むことで、他の地域からの転入者が増えています。 そのため区民の地元意識及び連帯意識は希薄化する傾向にあり、区民主体の地域づくり推進の逆風となっています。この課題を解決するため、区民が地元に着意を持てるような、区民、地域の活動団体、福祉団体、企業、学校等の交流・連携の場が今後ますます必要とされます。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	戸塚区民まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績
戸塚区民まつり来場者数	27,000人	32,000人	34,000人	34,000人
戸塚ふれあい文化祭参加団体数	59団体	58団体	57団体	57団体

【実施内容】

《柏尾川周辺の環境整備》
桜の季節のぼんぼり点灯委託
《戸塚区民まつり事業》
(1) 戸塚ふれあい区民まつり
(2) 戸塚ふれあい文化祭

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
柏尾川周辺の環境整備	自 354	自 321	33	消費税増税等による増
戸塚区民まつり事業	自 3,400	自 2,900	500	開催時間延長等による増
			0	
			0	
事業費合計	3,754	3,221	533	
内訳	3,754	3,221	533	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	田中 芳晴

(戸塚 区 - 14)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 地域振興 課]

No.	15
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	自治会町内会連絡調整事業
-----	--------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	14
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,071					3,071
前年度	2,418					2,418
増△減	653	0	0	0	0	653

歳出	27年度	28年度	29年度
事業費	2,557	2,550	2,415
メリット+一般財源	2,557	2,550	2,415
決算	2,425	2,042	2,208
決算	2,425	2,042	2,208

歳出	32年度	33年度
事業費	3,227	3,227
一般財源	3,227	3,227

方針に関する決裁 種別 ()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	市及び区から自治会町内会への依頼及び連絡などに係る調整を行うことにより、自治会町内会に対し、多くの情報を提供するとともに、地域の自主的な活動を支援します。
------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	自治会町内会未加入世帯への加入促進対策、役員の高齢化など多くの課題を抱える自治会町内会にとって、行政からの依頼業務は負担として受け止められるケースが生じてきています。自治会町内会は、横浜市の様々な施策を推進するための、大切な協働パートナーであります。行政が自治会町内会に依頼する業務については内容を検討し、負担とならないよう配慮しつつ、地域の自主的な活動が促進されるよう、引き続き努めていく必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 2 陳情 3 地区担当制度
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「人と人がつながるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

感謝会における経費等の推移

(単位：人、円)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込み
開催場所	戸塚公会堂	戸塚公会堂	戸塚区総合庁	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎	戸塚区総合庁舎
被表彰者数	24	22	16	19	17	23	28	18
事業費	820,036	896,587	884,394	752,319	1,077,095	893,155	1,036,786	1,058,000

【実施内容】

《仕分け、配送委託業務》

行政から自治会町内会へ情報提供（資料の仕分け及び配送）を実施します。

《自治会町内会長感謝会》

住民組織の代表として地域の発展や区政の推進に尽力されてきた永年在職者を表彰するとともに、自治会町内会長の日頃の活動に感謝の意を表し、感謝会を開催します。

《加入促進》

自治会町内会未加入世帯に対する加入促進策（加入促進キャンペーン等）を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
仕分け配送業務	自 1,970	自 1,323	647	仕分け配送単価の増
自治会町内会長感謝会	自 1,051	自 1,045	6	実績に基づく増
加入促進	自 50	自 50	0	前年度同額
			0	
事業費合計	3,071	2,418	653	
内 自主企画事業費	3,071	2,418	653	
内 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

自治会町内会への加入状況、自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	陣田 翼

(戸塚 区 - 15)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	16
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成21年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	とつか魅力再発見事業
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	16
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	649		325			324
前年度	1,095		325			770
増△減	△ 446	0	0	0	0	△ 446

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	505	450	741
メリット+一般財源	480	450	286
決算 事業費	1,050	1,211	709
メリット+一般財源	536	1,039	462

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	649	649
一般財源	649	649

方針に関する決裁 種別 ()
有:件名 ()、日付 (年 月)
(無)

事業の概要 (目的)	区政70周年を記念して誕生した戸塚区マスコットキャラクター「ウナシー」を活用し、各種団体との協働により、斑点の色に込められた戸塚区の魅力を知ってもらい、自分たちの住む町への愛着の醸成を図ります。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	大規模な再開発等により、区内への転入者が増加している中で区民、とりわけ子育て世代やその子ども達の地域への愛着を醸成していく必要があります。 また、地域に根ざした郷土愛の醸成のため戸塚区の歴史の普及や自然保護等について活動している地域団体の活動を支援していく必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】	(単位：人)	(単位：冊)																														
	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> <tr> <td>なぞとき広場応募者数</td> <td>310</td> <td>258</td> <td>265</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>なぞとき広場参加者数</td> <td>88</td> <td>170</td> <td>0</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> </table> ※31年度から32年度は見込み数値		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	なぞとき広場応募者数	310	258	265	300	300	なぞとき広場参加者数	88	170	0	200	200	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> <tr> <td>とつか歴史ろまん(新装版)販売数</td> <td>268</td> <td>700</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>200</td> </tr> </table> ※30年度以降は見込み数値		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	とつか歴史ろまん(新装版)販売数	268	700	500	500	200
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																											
なぞとき広場応募者数	310	258	265	300	300																											
なぞとき広場参加者数	88	170	0	200	200																											
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																											
とつか歴史ろまん(新装版)販売数	268	700	500	500	200																											

【実施内容】 ※30年度は台風のため中止

《ウナシーなぞとき広場》
「ウナシーなぞとき動画」鑑賞や戸塚区の自然を生かした体験を通して、小学生を対象にウナシーの斑点の色に込められた戸塚区の魅力を理解してもらいます。

また、地域で歴史の普及活動、桜やミズキンバイの保全活動をする区民団体等との協働事業として実施し、活動団体の活動支援の一助とするとともに、参加者に自分たちの住む町への郷土愛の醸成を図ります。

《ウナシー普及事業》
戸塚区のマスコットキャラクター「ウナシー」を多くの区民に周知し、地元愛を深めることを目的として着ぐるみの貸出を行っています。また貸出に伴い、着ぐるみの衛生管理のためのクリーニングを実施します。

《戸塚の歴史普及事業》
戸塚区の歴史をまとめた「とつか歴史ろまん(新装版)」を継続して販売します。

【事業費の内訳】																																				
	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>ウナシーなぞとき広場</td> <td>自 254</td> <td>自 320</td> <td>△ 66</td> <td>30年度実績に基づく減</td> </tr> <tr> <td>ウナシー普及事業</td> <td>自 320</td> <td>自 700</td> <td>△ 380</td> <td>80周年啓発物品製作終了による減</td> </tr> <tr> <td>戸塚の歴史普及事業</td> <td>自 75</td> <td>自 75</td> <td>0</td> <td>前年度同額</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>649</td> <td>1,095</td> <td>△ 446</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 自主企画事業費</td> <td>649</td> <td>1,095</td> <td>△ 446</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内 重点事業</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	ウナシーなぞとき広場	自 254	自 320	△ 66	30年度実績に基づく減	ウナシー普及事業	自 320	自 700	△ 380	80周年啓発物品製作終了による減	戸塚の歴史普及事業	自 75	自 75	0	前年度同額	事業費合計	649	1,095	△ 446		内 自主企画事業費	649	1,095	△ 446		内 重点事業	0	0	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																																
ウナシーなぞとき広場	自 254	自 320	△ 66	30年度実績に基づく減																																
ウナシー普及事業	自 320	自 700	△ 380	80周年啓発物品製作終了による減																																
戸塚の歴史普及事業	自 75	自 75	0	前年度同額																																
事業費合計	649	1,095	△ 446																																	
内 自主企画事業費	649	1,095	△ 446																																	
内 重点事業	0	0	0																																	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	中村 航	荒木 亮太

(戸塚 区 - 16)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 総務課]

No.	17
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名	「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業
-----	---------------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
34	1
35	3

事業評価書番号	17
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	11,810					11,810
前年度	7,058					7,058
増△減	4,752	0	0	0	0	4,752

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	8,178	7,954	6,965
決算 メリット+一般財源	8,178	7,954	6,965
予算 事業費	9,765	8,661	7,589
決算 メリット+一般財源	9,765	8,661	7,589

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	10,000	10,000
決算 一般財源	10,000	10,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月日)
無

事業の概要(目的)	防災関係機関、地域住民と連携した訓練や防災・減災イベントなどの啓発活動により「災害に強いまちとつか」に向け地域における防災・減災力の強化を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	
----------	--

- ・防災・減災に対する意識の向上とともに、備蓄や実災害時の避難などの行動に移していただけるよう、啓発を行う必要がある。
- ・共助の取組みについて、町の防災組織や地域防災拠点などの支援などを通じて、強化していく必要がある。

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「安全・安心を実感できるまちづくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、戸塚区災害ボランティアネットワーク支援事業補助金交付要綱、横浜市震災対策条例
------------	--

【実績の推移・今後見込み】	(単位：人)					
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込	31年度見込
地域防災拠点訓練参加者数	7,808	7,417	7,467	8,351	8,400	8,450
イベント参加者数	1,500	3,000	3,200	800	800	1,000

【実施内容】

《防災・減災啓発の実施》
防災に関する広報印刷物等により、区民の災害対応に関する意識啓発を行います。

《関係機関との連携強化》
住民、地元組織、企業、行政その他関係機関が一致協力して災害対策を実施するため、災害対策連絡会議や各種連携訓練による相互の連絡体制の確認や情報交換を行い、関係機関との連携強化を図ります。

《区本部体制の整備》
災害時の区本部機能強化のため、通信機能の確保、各種リース契約、物品・備蓄品補充などの必要な体制づくりを進めていきます。31年度はコンサルティング委託による区における風水害対応の計画等を作成し、本部体制のより一層の強化を図ります。
また、職員向けの訓練を実施し、戸塚区職員の災害対応力を高めます。

《地域防災拠点等の対応力強化》
地域防災拠点における訓練への支援や資機材の購入などにより、震災時における地域防災拠点の対応力強化を図ります。
31年度は委託による地域防災アドバイザーの派遣を、地域防災拠点及び自治会町内会等に行い、地域防災力強化の支援を行います。また、区内35拠点に地域防災拠点であることを表示する案内看板の設置を行います。

《「とつか減災フェア」の開催》
区庁舎において、区民広間等を活用した防災関連ワークショップや防災グッズの展示・販売ブースの出展と防災講演会を行う「とつか減災フェア」を開催し、子どもから大人まで幅広い年齢層の方を対象に自助・共助の一層の推進を図ります。

《土砂・浸水災害等対策》
土砂災害・浸水等対策として、対策用資機材を購入や整備をするとともに、地域の方々への意識啓発を図ります。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
防災・減災啓発の実施	重 1,690	重 1,990	△ 300	情報が不正確な作成部数精査による減
関係機関との連携強化	重 250	重 610	△ 360	対策資器材検討による減
区本部体制の整備	重 2,051	重 2,275	△ 224	実績による減
地域防災拠点等の対応力強化	重 4,912	重 610	4,302	備蓄品更新等による増
とつか減災フェアの開催	重 2,607	重 1,273	1,334	運営委託料等の増
土砂・浸水災害等対策	重 300	重 300	0	前年度同額
事業費合計	11,810	7,058	4,752	
内 自主企画事業費	11,810	7,058	4,752	
訳 重点事業	11,810	7,058	4,752	

【根拠とするデータ等】

地域防災拠点の訓練参加者数等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	齋藤 真美奈	田中 均	伊藤 龍一

(戸塚 区 - 17)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

No.	18
-----	----

[戸塚 区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防犯	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	防犯力強化事業
-----	---------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	33	5

事業評価書番号	18
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,033					4,033
前年度	4,560					4,560
増△減	△ 527	0	0	0	0	△ 527

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	4,705	4,305	4,786
メリット+一般財源	4,705	4,305	4,786
決算 事業費	4,016	4,564	4,980
メリット+一般財源	4,016	4,564	4,980

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	4,000	4,000
一般財源	4,000	4,000

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	啓発活動の実施及び防犯情報を区民に提供することで、区民の防犯に対する意識の向上及び、体感治安の改善を目指します。また、地域の防犯活動に対する支援を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
戸塚区における刑法犯罪認知件数は年々減少しているものの、振り込め詐欺の被害は大幅に増加しており、平成30年8月末時点で78件(1億4,627万円)となっており、対前年同月比52件(1億2,029万円)増という状況になっています。そのため、地域における啓発活動を継続して実施していくことで、一人一人の防犯意識を高めていくことが求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係
平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
「安全・安心を実感できるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等
犯罪のないまちづくり事業助成金交付要綱、地域防犯活動拠点設置要綱

【実績の推移・今後見込み】

	26年件数	27年件数	28年件数	29年件数
刑法犯認知件数	1,866件	1,606件	1,327件	1,202件
振り込め詐欺件数(被害額)	47件(86,000千円)	24件(97,530千円)	22件(85,640千円)	47件(98,000千円)

【実施内容】

《振り込め詐欺撲滅事業》

振り込め詐欺撲滅啓発活動

街頭啓発や各種団体の協力を得て高齢者を中心に振り込め詐欺撲滅を呼びかけます。また、警察や区職員による出前講座を実施していきます。

《地域の防犯活動応援事業》

(1) 犯罪のないまちづくり事業

自治会館や防犯拠点を中心に、パトロール・講習会等を実施する自主的な地域団体に対する補助金を交付します。

(2) 地域防犯活動拠点支援

地域の防犯活動における拠点の設置をすすめ、看板プレートの提供など支援を行います。

《子ども安全推進事業》

(1) 防犯ブザー配付

安全教育のツール及び防犯対策として、区内小学校1年生を対象に防犯ブザーを配付します。

(2) 子ども110番の家応援

子ども110番の家プレートを配布し、PTAによる「子ども110番の家」の取組を支援します。

《戸塚区まちな安心・安全推進連絡協議会》

(1) 防犯キャンペーン

防犯協会、協議会、警察署、区が連携して毎月10日に駅で防犯啓発を行います。

(2) わんわんパトロール

まちな防犯力を高めることを目的に犬の散歩時に防犯パトロールを兼ねる「わんわんパトロール隊」の普及と支援をします。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
振り込め詐欺撲滅啓発事業	自 560	自 400	160	啓発チラシ作成による増
地域の防犯活動応援事業	自 2,278	自 2,886	△ 608	前年度実績による減
子ども安全推進事業	自 1,125	自 1,185	△ 60	110番プレートの減
戸塚区まちの安心・安全推進 連絡協議会	自 70	自 89	△ 19	腕章等の減
事業費合計	4,033	4,560	△ 527	
内 自主企画事業費	4,033	4,560	△ 527	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

神奈川県警察「犯罪統計」

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	情野 純平	古田 汀

(戸塚 区 - 18)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	19
-----	----

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成17年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	交通安全・放置自転車対策事業	特記事項	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策	政策番号 主な施策番号 20 2	事業評価書番号	19
-----	----------------	------	--	------------	---------------------	---------	----

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,171					5,171
前年度	5,134					5,134
増△減	37	0	0	0	0	37

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	4,393	4,774	5,388	予算	事業費	5,171	5,171
	メリット+一般財源	4,393	4,774	5,388		一般財源	5,171	5,171
決算	事業費	4,469	4,960	4,410	方針に関する決裁種別()			
決算	メリット+一般財源	4,469	4,960	4,410	有:件名()、日付(年月日)			

事業の概要(目的)	〈交通安全対策〉交通安全の普及活動や区内のスクールゾーンにおける事故防止対策を行います。 〈放置自転車対策〉早朝及び夕方の駐輪指導、自転車適正利用の啓発活動を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	〈交通安全対策〉戸塚区では国道一号線等の主要道路が通っていることや細い道が多数あることから、交通事故の件数も市内上位となっています。通学路の安全確保と交通安全への意識を更に高める必要があります。 〈放置自転車対策〉戸塚駅前、東戸塚駅前、放置自転車が多く、引き続き駐輪指導、自転車適正利用の啓発活動が必要です。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「安全・安心を実感できるまちづくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	横浜市自転車等の放置防止に関する条例、戸塚区自転車等放置防止推進協議会活動補助金交付要綱、戸塚区スクールゾーン安全対策協議会助成金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】	(単位：件)			
	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績
交通事故発生件数	988	986	822	734

【実施内容】

《交通安全啓発活動》
 定期的な各種の交通安全啓発キャンペーンや子どもを対象とした交通安全教室を開催し、区民の交通安全意識及び交通マナーの向上を図ります。
 また、中学校を対象とした、スクエアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施し、自転車の乗り方、ルール等、事故防止につながる取組をします。

《スクールゾーン対策》
 区内各小学校のスクールゾーン安全対策協議会に対し助成を行うとともに、電柱巻「文」マークの更新及びスクールゾーンの路面表示の設置、補修をします。
 また、登下校時の見守り活動に必要な物品を配布します。

《放置自転車対策事業》
 戸塚駅・東戸塚駅周辺の自転車等放置禁止区域に監視員を配置します。
 また、各自転車等放置防止推進協議会に対し、補助金を交付します。

【事業費の内訳】				
	本年度	前年度	差引	説明
交通安全啓発活動	自 1,120	自 1,500	△ 380	交通安全教室実施校減少による減
スクールゾーン対策	自 3,423	自 3,154	269	新設対象増による増
放置自転車対策事業	自 628	自 480	148	実績による増
			0	
事業費合計	5,171	5,134	37	
内 自主企画事業費	5,171	5,134	37	
内 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

警察署による交通事故発生件数等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	荒木 亮太

(戸塚 区 - 19)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	20
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成16年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名	区民活動支援事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	33	2

事業評価書番号	20
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,988					7,988
前年度	8,212					8,212
増△減	△ 224	0	0	0	0	△ 224

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	7,264	9,473	8,123
決 算	7,264	9,473	8,123
予 算	5,868	7,956	7,885
決 算	5,868	7,956	7,885

歳出	32年度	33年度
予 算	8,000	8,000
決 算	8,000	8,000

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要 (目的)	地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指します。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	地域でボランティア活動や学習活動を始めたいと思っている区民に対して、学習機会と情報を提供することが必要です。また、すでにそうした活動を始めている個人・グループに、活動場所や資金、企画力、広報等の運営上の課題解決に向けた支援をしていく必要があります。これらのニーズに対して地域の活動拠点である「とつか区民活動センター」と連携して、活動の質を高めるための学習機会や適切な情報の提供、財政的支援を行っていく必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	・教育基本法 ・社会教育法 ・横浜市市民協働条例 ・第3次横浜市生涯学習基本構想 ・とつか区民活動センター事業実施要綱 ・横浜市民の読書活動の推進に関する条例 ・とつか区民の夢プロジェクト補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】					
事業名	H27	H28	H29	H30	H31
とつか区民の夢プロジェクト補助金事業		10団体	13団体	14団体	約15団体
読書活動推進事業(講座等参加者数)	150人	200人	200人	200人	200人
とつか区民活動センター運営事業 (センター利用者数)	27,474人	28,767人	29,000人	30,365人	30,000人

【実施内容】
 《とつか区民の夢プロジェクト補助金》
 区内で活動する団体が行う、地域の魅力づくり・課題解決に繋がる活動に対し、補助を行います。
 《読書活動推進事業》
 関係課長、学校長代表による連絡会、区内読書関連施設、ボランティア団体による懇談会を開催します。また、学校司書を中心にした学校連携会議を開催します。戸塚図書館・学校等と連携して講座の実施や区民広間等を利用したイベントを開催し行うほか、読書活動入門講座、実践者を対象としたスキルアップ研修などを開催し、区民の読書活動の推進を図ります。

《とつか区民活動センター運営事業》
 市民活動・生涯学習活動・ボランティア活動支援の拠点である「とつか区民活動センター」を委託団体と協働で運営します。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とつか区民の夢プロジェクト補助金事業	自 1,973	自 2,169	△ 196	実績に基づく減
読書活動推進事業	自 400	自 400	0	前年度同額
とつか区民活動センター運営事業	自 5,615	自 5,643	△ 28	実績に基づく増
			0	
事業費合計	7,988	8,212	△ 224	
内 自主企画事業費	7,988	8,212	△ 224	
内 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	中村 航	山崎 修

(戸塚 区 - 20)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 地域振興 課]

No.	21
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成18年度
------	---------------	---------	---------	--------	--------

事業名	地域文化振興事業
-----	----------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input checked="" type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	---

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3

事業評価書番号	21
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,300					1,300
前年度	1,300					1,300
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	3,051	1,000	1,500
メリット+一般財源	3,051	1,000	1,500
決算 事業費	2,696	1,175	1,616
メリット+一般財源	2,696	1,175	1,616

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	1,300	1,300
一般財源	1,300	1,300

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民に「文化芸術に触れる機会」を提供し、文化活動の関心を高めるとともに、区内の文化活動団体等への活動支援を行い、地域の文化振興を図ります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>戸塚区民文化センターの開館により、文化活動を展開している区民団体の文化振興に向けた期待が膨らみ、更に活発化しようとしています。地域に展開する文化芸術事業を盛り上げ、区民の参画を促進し、地域の文化振興を図るため、区民が主体的に参加できる文化芸術活動を積極的に支援します。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	
-------------	--

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	戸塚っ子いきいきアートフェスティバル補助金交付要綱
------------	---------------------------

【実績の推移・今後見込み】

戸塚っ子いきいきアートフェスティバル (単位:人)							
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入場者数(人)	2,314	3,620	4,171	4,244	3,955	4,052	4,000

【実施内容】

《戸塚っ子いきいきアートフェスティバル》
区内の小、中、高、特別支援学校の様々な文化活動の発表を区内の青少年育成に関わる団体や地域のボランティアにより実施します。
《横浜音祭り2019応援事業》
横浜音祭り2019の開催に合わせて、戸塚区制80周年の音楽イベントを開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
戸塚っ子いきいきアートフェスティバル	自 1,000	自 1,000	0	前年度同額
横浜音祭り2019応援事業	自 300	0	300	新規事業
DanceDanceDance@YOKOHAMA応援事業	自 0	自 300	△ 300	事業終了
			0	
			0	
事業費合計	1,300	1,300	0	
内 自主企画事業費	1,300	1,300	0	
訳 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	中村 航	山崎 修

(戸塚 区 - 21)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	22
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成26年度
------	---------------	---------	---------	--------	--------

事業名	とつか音楽の街づくり事業
-----	--------------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3

事業評価書番号	22
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,200					3,200
前年度	3,000					3,000
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	1,100	1,800	1,800
メリット+一般財源	1,100	1,800	1,800
決算 事業費	1,100	1,986	1,942
メリット+一般財源	1,100	1,986	1,942

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	3,200	3,200
一般財源	3,200	3,200

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	区民の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親しんでもらう機会や場所を提供し、音楽の街とつかを広くアピールします。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

戸塚区は、市内初の区民オーケストラ、区民の実行委員によるゴスペルコンサート、戸塚に縁のある歌を唄うシンガーソングライターや商店街と連携した路上ライブなど音楽活動が区民に浸透しています。そこで、区内の文化団体や演奏家へ発表の場を提供するとともに、幅広い年齢層の区民に音楽に親しんでもらう機会や場所を提供し、音楽を中心に地域のつながりを深め、地域の活性化を図ります。

地域の課題等の収集手段

2 運営方針等との関係 平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 とつか音楽の街づくり事業とつかストリートライブ運営補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】						
	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込み	平成31年度見込み
区民広間コンサート 開催回数・参加者数	9回・1080人	12回・1500人	12回・1600人	12回・1800人	12回・1800人	12回・1800人
とつかストリートライブ 出演者数	17組	66組	138組	136組	150組	150組

【実施内容】

(1) 区民広間コンサート
区民広間において区民の文化団体を中心としたコンサートを実施します。出演団体の募集選定も含め、企画運営については、区民からなる運営委員会により実施します。

(2) とつかストリートライブ
区内で演奏の場を設け、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供します。出演者の募集、広報、その他企画等は補助金交付により実施します。戸塚駅及び東戸塚駅周辺での定期ライブ開催に加えて、とつかはしご酒ライブやミュージック大会を区制80周年イベントとして開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民広間コンサート	自 100	自 100	0	前年度同額
とつかストリートライブ	自 3,100	自 2,900	200	事業拡大に伴う増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	3,200	3,000	200	
内 自主企画事業費	3,200	3,000	200	
訳 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	中村 航	山崎 修

(戸塚 区 - 22)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度 事業計画書【自主企画事業費】

No. 23

[戸塚 区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成7年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名 スポーツ・レクリエーション振興事業	特記事項		中期計画-38の政策 政策番号 7 主な施策番号 2	事業評価 書番号 23
	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業			事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,114					1,114
前年度	500					500
増△減	614	0	0	0	0	614

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	500	500	500	予算	事業費	1,400	1,000
	メリット+一般財源	500	500	500		一般財源	1,400	1,000
決算	事業費	546	500	500	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	546	500	500				

事業の概要 (目的)	<p>体育協会事業などの区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興を推進します。また、スポーツ・文化振興の観点から優秀な人材に区民栄誉賞・奨励賞・特別賞を贈ります。</p>
---------------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<p>区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動を振興し、心身の健康やリフレッシュ、地域交流の活性化を推進する必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	6 区民要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	スポーツ基本法、戸塚区体育協会補助金交付要綱、戸塚区区民栄誉賞、戸塚区区民栄誉賞奨励賞及び戸塚区区民栄誉賞特別賞実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

- 区民体育振興事業
区体育協会に加盟する各種団体が主催する大会等に毎年多くの区民が参加しています。各種目団体による区民大会、講習会等により区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動が推進されています。
- オリンピック・パラリンピック機運醸成事業
東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、戸塚区においても機運醸成を図るための事業を実施します。
- 区民栄誉賞
スポーツ・文化の優秀な人材に対し、区民栄誉賞・奨励賞・特別賞を贈り、士気の向上に役立てます。

【実施内容】

- 《区民体育振興事業》
区体育協会への運営費補助
- 《オリンピック・パラリンピック機運醸成事業》
オリンピック・パラリンピックに縁のある人物による講演会の実施
- 《区民栄誉賞事業》
スポーツ・文化の優秀な人材に対し、区民栄誉賞・奨励賞・特別賞を贈呈

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民体育振興事業	500	500	0	前年度同額
オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	479		479	新規事業
区民栄誉賞事業	135		135	新規事業
事業費合計	1,114	500	614	
内 自主企画事業費	1,114	500	614	
内 重点事業	1,114	0	1,114	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	木幡 有希

(戸塚 区 - 23)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	24
-----	----

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成27年度
------	---------------	---------	---------	--------	--------

事業名
区内女子スポーツ普及・応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
7	2

事業評価書番号	24
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,538					1,538
前年度	1,560					1,560
増△減	△ 22	0	0	0	0	△ 22

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	1,110	1,210	1,210
メリット+一般財源	1,110	1,210	1,210
決算 事業費	1,101	1,213	1,468
メリット+一般財源	1,101	1,213	1,468

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	1,600	1,600
一般財源	1,600	1,600

方針に関する決裁種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	区内に活動拠点のある女子スポーツ団体(ラグビー、サッカー等)の普及活動を支援することで、地域のチームとしての認識を深め、女子スポーツの普及と郷土愛の醸成を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	区内に活動拠点のある女子スポーツ団体には、国内でもトップレベルの優秀な選手が在籍し、素晴らしい成績を収めるなど、今後の活躍に多くの期待が集まっています。しかし、区民の認知度はいまだに低く、競技人口も少ないことから、区としても広く活動を紹介し、親しみが持てるよう普及活動を支援する必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】 (単位：人)				
	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度見込
観戦ツアー参加者	42	56	106	100
体験教室参加者	30	61	70	100

【実施内容】

戸塚区に拠点をおいて活動をしている女子ラグビーチーム「YOKOHAMA TKM」、女子サッカーチーム「ニッパツ横浜FCシーガルズ」、女子ソフトボールチーム「日立ソフトボール部」を応援する事業を実施します。

《女子スポーツ普及支援》

(1) ラグビー、サッカー、ソフトボールの小学生を対象とした体験教室を実施します。

(2) 区のホームページ内の応援ページにより、随時各チームの成績やトピックスなどを掲載・更新します。

《スポーツ応援団》

ラグビー、サッカー、ソフトボールの市内開催試合について観戦を促し、区民が応援する機会を提供します。

《チーム紹介パネル展》

YOKOHAMA TKM、ニッパツ横浜FCシーガルズ、日立ソフトボール部を紹介するパネル展を開催します。

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
女子スポーツ普及支援	自 418	自 420	△ 2	実績による減	
スポーツ応援団	自 600	自 700	△ 100	実績による減	
チーム紹介パネル展	自 520	自 440	80	実績による増	
			0		
事業費合計	1,538	1,560	△ 22		
内訳 自主企画事業費	1,538	1,560	△ 22		
重点事業	0	0	0		

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	木幡 有希

(戸塚 区 - 24)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 地域振興課]

No.	25
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成13年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名	特記事項		中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 25
	青少年健全育成事業	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,849					1,849
前年度	1,620					1,620
増△減	229	0	0	0	0	229

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,095	1,430	1,620	予算	事業費	1,849	1,849
	メリット+一般財源	1,095	1,430	1,620		一般財源	1,849	1,849
決算	事業費	1,157	925	1,600	方針に関する決裁種別() 有:件名()、日付(年月日) 無			
	メリット+一般財源	1,157	925	1,600				

事業の概要 (目的)	地域の特性を生かし、地域で青少年の健全育成を目的に活動をしている団体を支援することにより、青少年の健全な育成を推進します。
---------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<p>少子化、就労形態等の社会的な変化等により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で青少年の育成に取り組むことが必要です。</p> <p>また、地域で青少年の健全育成に取り組む団体の支援をすることにより、地域で青少年を育む環境づくりの必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	地域で育む青少年健全育成事業補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】								
地域で育む青少年健全育成事業補助金 (単位：事業)								
	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度見込み
交付事業数	6	6	6	6	5	7	9	9

【実施内容】

《地域で育む青少年健全育成事業》
 地域性を生かし、青少年の健全育成を目的として自主的に活動している団体が実施する事業に補助金を交付します(年1回5月)。

《青少年防災対応力強化事業》
 中・高生を対象とした青少年の防災対応力の向上を図ります。

《「とつかこども起業塾」事業》
 区内の小学校高学年から中学生を対象に、商店街店舗等に協力依頼をし、店舗経営の楽しさと難しさを学ぶ教室を複数回開催します。教室の中では市場調査等も実施し、市場にどのようなニーズがあるのかを把握し、子どもたちが自ら商品を考えます。区内で実施するイベントにて、協力店舗に製作していただいた商品を販売する体験を行います。

【事業費の内訳】				
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域で育む青少年健全育成事業	自 1,010	自 880	130	申請団体の増
青少年防災対応力強化事業	自 485	自 380	105	前年度実績に基づく増
「とつかこども起業塾」事業	自 354	自 360	△ 6	前年度実績に基づく減
事業費合計	1,849	1,620	229	
内 自主企画事業費	1,849	1,620	229	
訳 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	情野 純平	安藤 晋也

(戸塚 区 - 25)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度 事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 こども家庭支援 課]

No.	26
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	子育て応援事業
-----	---------

特記事項	<input type="checkbox"/> 中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 <input type="checkbox"/> 中期計画-財政運営 <input type="checkbox"/> 重点事業 <input type="checkbox"/> 新規・拡充 <input type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	1

事業評価書番号	27
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,496					4,496
前年度	4,571					4,571
増△減	△75	0	0	0	0	△75

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	3,769	4,956	4,941
Merrill+一般財源	3,769	4,956	4,941
決算 事業費	3,724	4,789	4,461
Merrill+一般財源	3,724	4,789	4,461

歳出	31年度	32年度
予算 事業費	4,496	4,496
Merrill+一般財源	4,496	4,496

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	育児に不安を抱え孤立化する養育者が増える中、妊産婦から乳幼児とその養育者等の健康の保持増進、育児不安解消のために、地域子育て支援拠点「とっとの芽」と協働で子育て支援事業を実施します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等
戸塚区の平成29年の出生数は2,146人で出生率は区内7番目であり、年少人口は13.3%と市平均12.2%を上回っています。少子化や地域のつながりの希薄化が進む中での子育ては、養育者を孤立化させる可能性があり、子どもの健全な成長を妨げかねません。身近な地域等での教室開催を通じた養育者の仲間づくり、地域で子育て支援に関わる方のスキルアップやネットワーク作り、子育てをする当事者同士が相互に援助しあう関係づくりを進め、育児不安の軽減を図り、安心して子育てできる環境をつくることが求められています。

地域の課題等の収集手段

2 運営方針等との関係 平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 母子保健法、児童福祉法、児童虐待防止法、共創推進の指針

【実績の推移・今後見込み】 (単位：組、人)

		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	31年度目標
土曜日両親教室	参加組数(延べ)	287	271	302	300	350
ひよこ会	参加者数(延べ)	7,325	6,097	5,469	5,500	5,500
育児支援講座	参加組数(延べ)	—	—	71	100	125
「地域の子育て支援者」スキルアップ研修	参加者数	—	15	59	100	100

【実施内容】
〈健やか子育て応援事業〉
・土曜日両親教室:夫婦で協力し子育てに取り組む意識を高めるため、妊婦・沐浴体験や先輩パパママとの交流を図り、当事者性を高めた講座を開催します。地域子育て支援拠点と協働で実施することにより、産後の拠点利用を促し、孤立予防を図ります。
・ひよこ会:乳児と養育者対象に赤ちゃん教室事業を実施します。発達に合わせた関わり方などの講話やアドバイス、個別相談を行い、さらに養育者の仲間づくりを進めます。
・育児支援講座:自己主張の強くなる2歳～3歳児の養育者を対象に、子どもへの関わり方を学ぶ育児講座を開催します。
・子ども・家庭支援相談:制度周知リーフレットを作成します。

様式3-1

〈「地域の子育て支援者」アシスト事業〉

・地域で子育て支援活動を行っている方が、養育不安を抱える養育者へ適切な声かけができるよう、具体的かつ効果的な研修を実施します。子育て支援に必要なスキルアップを図り、日頃の活動に生かすことで、養育者がより安心して子育てができる地域の基盤を強化します。

〈とつとの芽協働事業〉

・子育て情報の発信:養育者のニーズに沿った効果的な情報発信を行うため、プロジェクトチームを立ち上げ、子育てアプリの開発と情報誌の改定について検討します。妊娠期からのメールマガジン配信も引き続き行い、妊娠期から切れ目ない地域情報を発信します。

・とことこフェスタの開催:子育て支援に関わる団体のネットワークづくりと情報発信、子育て中の親子の交流と子育てを楽しむ環境づくりを推進するイベントです。開催にあたっては、関係機関の連携強化、養育者の力を引き出す取り組み、民間企業との共創も推進していきます。

・サークル支援:子育て支援者によるサークル支援などにより、サークルの活性化を図るとともに、サークル同士の交流会を実施して、情報交換・活動課題の共有を図ります。

・外遊び応援事業:公園愛護会と連携しながら、地域の子育て支援に関わる方が外遊びの楽しさを伝えます。外遊びを通して親子の関わりを深め、地域の交流や連携を図ります。

・とつか子育て連絡会:地区別子育て連絡会と全体会を充実させ、子育て支援における課題の共有と関係機関との連携強化を図り、区域の子育て支援のネットワークを強化していきます。

【事業費の内訳】

(単位:千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
健やか子育て応援事業	自 1,910	自 1,923	△ 13	事業手法見直しによる減
「地域の子育て支援者」アシスト事業	自 208	自 305	△ 97	講座開催方法見直しによる減
とつとの芽協働事業	自 2,378	自 2,343	35	情報発信に係るプロジェクトチーム検討等による増
事業費合計	4,496	4,571	△ 75	
内 自主企画事業費	4,496	4,571	△ 75	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	土井 やすみ	三橋 静香	徳田 真喜

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度 事業計画書【自主企画事業費】

No.	27
-----	----

[戸塚 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
保育所地域子育てパワーアップ事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	3

事業評価書番号	29
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,353		60			2,293
前年度	1,722		60			1,662
増△減	631	0	0	0	0	631

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算 事業費	2,904	2,264	1,918
メリット+一般財源	2,821	2,181	1,858
決 算 事業費	4,732	2,362	1,764
メリット+一般財源	4,687	2,312	1,713

歳出	32年度	33年度
予 算 事業費	2,353	2,353
一般財源	2,293	2,293

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	市立・民間保育所を対象に研修等を実施し、区域全体としてより高い質の保育を提供します。市立保育所の機能活用により地域家庭へ育児サービス等を提供する地域子育て支援を実施します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関わる支援を必要とする世帯が増加する中、保育所が利用児童のみならず地域に開かれた施設として、子育ての支援機関としての機能を様々な形で発揮することが期待されています。 ・地域での親子の孤立化、虐待の発生を予防し、安心して子育てができる環境づくりが必要です。 ・近年の保育の質に対するニーズに対応できる専門性の高い保育を継続することが不可欠です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法、子ども・子育て関連3法 横浜市民の読書活動の推進に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

(単位：人・件)

	27年度	28年度	29年度	30年度見込み	備考
施設開放参加延べ人数	7,733	7,127	5,544	5,079	
保育所文庫貸出件数	2,737	6,372	4,196	3,789	保育所文庫の全園設置は27年9月

【実施内容】

- 1 保育の質の向上事業
 - ・区内全保育施設を対象とした研修の実施
 - ・園児同士の交流と施設間のネットワークづくりを図ることを目的に、区制80周年の機運を醸成する機会として年長児を対象とした交流保育を実施
- 2 保育所子育て支援事業
 - ・地域向けに育児相談や施設開放、ランチ交流等を実施
 - ・地域の子育てを支援する施設としての市立保育園機能の充実および「横浜市民読書活動推進計画」における子どもの発達段階に応じた読書活動を推進するため、園内用・貸出用絵本の充実を図る。
 - ・戸塚区保育所等一覧冊子、保育・教育施設案内チラシの作成・印刷
 - ・業務円滑化のための区役所・市立保育園間の書類配送委託

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
保育の質向上事業	自 542	自 258	284	事業拡充による増
保育所子育て支援事業	自 1,811	自 1,464	347	事業拡充による増
			0	
事業費合計	2,353	1,722	631	
内 自主企画事業費	2,353	1,722	631	
訳 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	金森 裕一	唐澤 英和	松本 貴春

(戸塚 区 - 27)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 こども家庭支援 課]

No.	28
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
子どもを取り巻く虐待予防環境づくり事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	1

事業評価書番号	30
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,112					2,112
前年度	1,794					1,794
増△減	318	0	0	0	0	318

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	2,049	1,903	2,699
算 メリット+一般財源	2,049	1,903	2,699
決算 事業費	1,787	1,984	2,798
算 メリット+一般財源	1,787	1,984	2,798

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	2,112	2,112
算 一般財源	2,112	2,112

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議の委員となっている関係機関や地域と連携を強化する一方で、育児不安の高い養育者への支援を行うなど、児童虐待予防、早期発見および対応に取組めます。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	横浜市における平成29年度の児童虐待相談の対応状況は6,796件で過去最高であり、平成25年度の1.5倍に迫る増加率となっています。区における対応は、未就学児童の割合が高い割合が続いているとともに、保育・教育等関係機関からの通告・相談が年々増えています。関係機関などの支援体制を強化し、地域の虐待に対する意識を高めるとともに、育児不安のある未就学児童の養育者の負担を軽減し、子どもを虐待から守る環境づくりを進める必要があります。
地域等の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 5 区民アンケート 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、児童の権利に関する条約、横浜市子供を虐待から守る条例、横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議設置・運営要綱

【実績の推移・今後見込み】
個別カウンセリング回数 (単位：回・人)

	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度見込
回数	18	24	24	36
参加者数	30	48	48	72

- 【実施内容】
- 子育てサポート連絡会関連事業
 - 横浜市要保護児童対策地域協議会戸塚区実務者会議「戸塚区子育てサポート連絡会」として、区の全体会を年2回、地区別連絡会(5地区)を開催するとともに、合わせて研修を実施します。
 - 広く区民に虐待予防の普及啓発を図るため、区民向けイベントや、児童虐待防止推進月間を中心とした区庁舎内のキャンペーンで、児童虐待防止活動のPRに努めます。
 - 親子のよりよい関係が築けるよう、子育ての具体的なアドバイスを盛り込んだリーフレットを作成・配布します。
 - 養育者支援
 - カウンセラーによる個別カウンセリングを充実させ、育児不安のある養育者の負担軽減にタイムリーに対応します。
 - 虐待通告など緊急時の迅速な対応を図ります。

【事業費の内訳】 (単位：千円)

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子育てサポート連絡会関連事業	自 1,411	自 800	611	学校との連携に要する郵券増
養育者支援	自 701	自 994	△ 293	実績による減
事業費合計	2,112	1,794	318	
内訳 自主企画事業費	2,112	1,794	318	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	土井 やすみ	尾形 花菜子	松崎 典子

(戸塚 区 - 28)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 子ども家庭支援 課]

No.	29
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成24年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
とつかの子育て応援ルーム 「とことこ」運営事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	1

事業評価書番号	31
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,558					8,558
前年度	6,402					6,402
増△減	2,156	0	0	0	0	2,156

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	5,223	5,223	5,492
メリット+一般財源	5,223	5,223	5,492
決算 事業費	5,216	5,254	5,509
メリット+一般財源	5,216	5,254	5,509

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	8,558	8,558
一般財源	8,558	8,558

方針に関する決裁 種別 ()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	とつかの子育て応援ルーム「とことこ」において、一時託児の実施と地域の子育て情報の提供等を行います。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等

戸塚区総合庁舎で転入出等の届出を行う際には、複数の課における手続きなどに多くの時間を要する場合があります。保護者の利便性向上とともに、来所した子どもの安全性の観点からも、一時託児の実施が求められています。また、庁舎は駅直結で利便性が高く、区内各エリアからの来庁者が見込まれることから、子育て情報の提供などをはじめとした総合的な子育て支援を実施することが求められています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係 平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

利用者数実績・見込み (単位：人)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込
一時託児	1,193	1,565	1,542	1,677	1,614	1,750
情報コーナー	9,822	10,698	11,974	12,695	13,973	14,000
ベビーカーレンタル	-	-	-	283	419	450
合計	11,015	12,263	13,516	14,655	16,006	16,200

【実施内容】

- 一時託児：未就学児とともに来庁した区民が、手続きを円滑に行うことができるよう、一時託児を実施します。利用ニーズに応え、0歳児の託児も実施し、支援を充実させます。
- 情報コーナー：「情報コンシェルジュ」による、当事者目線を生かした子育て情報の収集や提供を行います。転入者のオープンゲートとして新生活を快適に過ごしていただけるよう、一人一人に寄り添い対応します。また授乳コーナーの使いにくさをなくし、より快適な環境整備を行います。
- ベビーカーレンタル：戸塚駅周辺で利用できるベビーカーの無料レンタルを行うとともに、有効に活用されるよう周知を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
子育て応援ルーム「とことこ」運営事業	自 8,558	自 6,402	2,156	嘱託員増員による増
事業費合計	8,558	6,402	2,156	
内訳 自主企画事業費	8,558	6,402	2,156	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	土井 やすみ	三橋 静香	村本 美由紀

(戸塚 区 - 29)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 福祉保健 課]

No.	30
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成24年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	とつか健康パワーアップ事業
-----	---------------

特記事項	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	2

事業評価書番号	33
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,601					2,601
前年度	1,549					1,549
増△減	1,052	0	0	0	0	1,052

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	2,068	1,068	1,068
メリット+一般財源	2,068	1,068	1,068
決算 事業費	1,960	1,381	1,330
メリット+一般財源	1,960	1,381	1,330

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	2,601	2,601
一般財源	2,601	2,601

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月日)
無

事業の概要(目的)	福祉保健センターが実施する健康づくり事業のパートナーである保健活動推進員と食生活等改善推進員の活動を広く区民に周知するとともに、その活動を支援します。 また、健康まつりを通じて区民の健康づくりへの関心を促します。さらに、運動習慣の少ない世代を中心に、スロージョギング®やマラニックの普及を進め、運動習慣の確立を目指します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの推進役である保健活動推進員や食生活等改善推進員に対する区民の認知度を高める仕組みが必要です。 「横浜市食育推進計画」を推進するため、食生活等改善推進員の協力が必要不可欠です。 健康に関心のない人や日ごろ区役所の健康講座等に参加する機会のない人に対しても健康づくりに親しむ機会が必要です。 働き子育て世代は、普段から運動する習慣が少なく、気軽に楽しくできる運動の啓発と、運動の継続支援が必要です。
地域の課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	健康増進法、横浜市がん撲滅推進条例、第2期健康横浜21、横浜市食育推進計画、横浜市保健活動推進員規則、食生活等改善推進員養成及び活動支援事業実施要領、戸塚健康まつり補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度	平成31年度見込
健康まつり参加者数	9,116人	7,928人	8,295人(実績)	8,300人
親子食育講座実施回数	11回	11回	11回(見込)	11回

- 保健活動推進員及び食生活等改善推進員の周知活動として、引き続き活動紹介のリーフレットを作成します。
- スロージョギング®講座及び講座参加者の自主グループ化支援、マラニックを継続して実施します。また、企業や地域団体向けのスロージョギング®講座を拡充します。

【実施内容】

《団体による健康啓発》
 ・幅広い年代が健康づくりに関心を持ち、取り組めるように啓発するため、健康まつりを開催します。平成31年度は戸塚区制80周年を記念して新たに健康測定ブースを設けます。
 ・食生活等改善推進員を中心に小中学生とその保護者を対象に親子食育講座を開催します。また、必要物品の提供など活動支援を行います。

《周知活動》
 ・保健活動推進員及び食生活等改善推進員の活動を紹介する冊子を作成し、区民に広く周知します。

《食生活等改善推進員の活動支援》
 ・食生活の啓発用パンフレットの作成や教材等を購入することで活動を支援します。

様式3-1

《マラニックイベント等》

・運動習慣の少ない世代（家族・仲間）を対象にマラソンとピクニックを掛け合わせた通称「マラニック」を、区内の名所等を巡りスロージョギング®で実施します。

実施の企画・準備は、スロージョギング®の経験のある区民と協働して行います。

・企業や地域団体を対象に、運動習慣のきっかけづくりを目的としたスロージョギング®講座を開催します。

《柏尾川ナイトラン》

・柏尾川ナイトラン1コース（5回）の講座を開催し、スロージョギング®講師による実技指導等を実施します。

講座終了後には、参加者同士がつながり、自主活動グループへ移行し運動習慣の継続を目指します。

さらに、自主グループへ円滑に移行できるように、講座終了後も区の職員がグループが自立するまでフォローに入ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
団体による健康啓発	自 696	重 606	90	健康まつり補助金の増
周知活動	自 176	重 372	△ 196	保健活動推進員70周年記念講演会の減
食生活等改善推進員の活動支援	自 211	重 110	101	消費税増税等による増
マラニックイベント等	自 1,312	重 321	991	企業等支援の実施による増
柏尾川ナイトラン	自 206	重 140	66	消耗品費等の増
			0	
事業費合計	2,601	1,549	1,052	
内 自主企画事業費	2,601	1,549	1,052	
訳 重点事業	0	1,549	△ 1,549	

【根拠とするデータ等】

平成28年国民健康・栄養調査 平成28年度健康に関する市民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	松本 真佐人	武島 かおり	若林 園子

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 福祉保健課]

No.	31
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成29年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
大学と連携した子ども健康づくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1, 2

事業評価書番号	36
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,361					1,361
前年度	1,198					1,198
増△減	163	0	0	0	0	163

歳出		27年度	28年度	29年度
予算	事業費			1,000
決算	メリット+一般財源			1,000
予算	事業費			1,024
決算	メリット+一般財源			1,024

歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,361	1,361
決算	一般財源	1,361	1,361

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	生活習慣病は、健康寿命延伸を左右する大きな原因であり、その予防には、若年のときから対策を講じることが特に重要とされています。また、「働き・子育て世代」は、自分の健康を後回しにしがちです。そこで、小・中学生とその親を対象に、親子参加型のイベントを戸塚区の医療系大学等と連携して開催し、健康について考えるきっかけづくりをし、生活習慣病の予防を啓発していきます。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	平成26年度版厚生労働白書によると、平成25年の生活習慣病関連疾病は、医療費のうちの医科診療医療費の約3割、死因の約6割を占めており、生活習慣の改善が健康寿命を伸ばすことにつながり、医療費の負担軽減にもつながります。 親子参加型のイベントを開催することで、子どもが健康について考えるきっかけを作るとともに、「働き・子育て世代」の親にも健康について振り返り機会を提供し、生活習慣病の予防を意識付けすることにより、将来に向けた健康寿命を伸ばし、医療費の削減を図ります。
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	健康増進法、第2期健康横浜21

【実績の推移・今後見込み】

	(単位：人)		
	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度見込
親子参加型イベント来場者数	517	446	600

【実施内容】

- 親子参加型イベントを戸塚区内医療系2大学や横浜市体育協会、関連団体と連携・協力して実施します。
- ブースの出展内容については、事業の目的に則し、出展団体と協議し決定します。
- スタンプラリーを実施し、達成者には啓発物品を配付します。
- イベントの周知のためのチラシの印刷、会場の設営等を委託します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
大学と連携した子ども健康づくり事業	自 1,361	自 1,198	163	消耗品、備品購入等による増
事業費合計	1,361	1,198	163	
内 自主企画事業費	1,361	1,198	163	
内 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

平成26年度版厚生労働白書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり 係
	松本 真佐人	武島 かおり	若林 園子

(戸塚 区 - 31)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 福祉保健課]

No.	32
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成23年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
子育て家庭のヘルスアップ事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	2

事業評価書番号	37
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	933					933
前年度	841					841
増△減	92	0	0	0	0	92

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算 事業費	427	822	950
算 メリット+一般財源	427	822	950
決 算 事業費	422	790	971
算 メリット+一般財源	422	790	971

歳出	32年度	33年度
予 算 事業費	933	933
算 一般財源	933	933

方針に関する決裁 種別()

有:件名()、日付(年月)

無

事業の概要(目的)	歯が生え始め、離乳食が始まる4~6か月親子を対象に、早期から口腔ケアの方法・口腔機能の発達に合わせた健全な食習慣形成の支援をするとともに、家事や子育て優先で後回しになりがちな保護者自身の健康を見直し、食・口腔・運動の3方向から親子の健康づくりを支援します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行われている「乳幼児歯科・食生活相談」「地域育児教室」事業等では、0歳児の保護者から歯みがきや離乳食の今後の進め方を知りたいというニーズがとて高く、楽しい雰囲気の中で、保護者にとってはじめての歯みがき・離乳食の不安を解消し、早期に乳幼児のう蝕予防や食育に関する知識や技術を学ぶ機会を設ける必要があります。 ・40歳以降に急速に増加していく歯周疾患を予防するために、子育てに忙しく自分のことを後回しにしがちなの時期の母親自身の口腔内の健康を見直す機会が必要です。 ・この時期の母親は習慣的に運動することが難しく、赤ちゃんと一緒に楽しみながら日常生活の中で気軽に取り入れられる運動の啓発が必要です。
----------	--

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	6 区民要望		
-------------	-----------	--------	--	--

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	食育基本法、健康増進法、母子保健法、第2期健康横浜21「育ち・学びの世代の行動目標」、横浜市食育推進計画、歯科口腔保健の推進に関する法律
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

[平成30年度実績]

《はじめての歯びか教室》 月1回(4~6か月児の親子対象:各回25組定員)実施

(単位:組)

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
申込者数	25	21	27	26	16	21	18	20
参加者数	19	21	20	24	14	21	14	18

《保護者のお口の健康チェック》

・6月7日実施(戸塚歯科医師会関連イベント内) 81人参加

【実施内容】

《はじめての歯びか教室》(4~6か月児の親子対象:各回25組)年14回実施(区役所12回、地域会場2回)

- ・講話「歯みがきスタートと家族のお口の健康について」、歯みがきレッスン、唾液でわかる歯周病チェック
- ・講話「離乳食の進め方」、実演「10倍粥とだしの取り方」
- ・親子体操(区役所実施回のみ)

《保護者のお口の健康チェック》6月の戸塚歯科医師会関連イベント内で来場保護者に実施

- ・唾液でわかる歯周病チェック

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
はじめての歯びか教室	自 903	自 813	90	開催回数変更に基づく増
保護者のお口の健康チェック	自 30	自 28	2	実績による増
事業費合計	933	841	92	
内 自主企画事業費	933	841	92	
訳 重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

乳幼児歯科相談実施報告、保護者のお口の健康チェックアンケート集計結果(H29、H30)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	松本 真佐人	武島 かおり	高橋 あゆみ

(戸塚 区 - 32)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

No.	33
-----	----

[戸塚 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名 とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業	特記事項		中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号	38
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 ○ 新規・拡充 ○ 温暖化対策関連事業		14 1 	事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,822					4,822
前年度	4,341					4,341
増△減	481	0	0	0	0	481

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	3,827	2,318	3,009	予算	事業費	5,764	2,413
	メリット+一般財源	3,827	2,318	3,009		一般財源	5,764	2,413
決算	事業費	4,039	2,413	2,782	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	4,039	2,413	2,782	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要 (目的)	平成28年度から5か年に及ぶ第3期ハートプランを推進することで、地域の福祉保健の充実を図ります。また、平成33年度から開始する第4期ハートプランの策定を進めていきます。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	第3期計画から、連合・地区社協エリアごとに地区別計画の推進に取り組んでいます。第3期計画の4年目であり、地域の皆さまによる主体的な取組がより一層推進されるとともに、進捗を振り返り、第4期計画策定も見据えながら、地域連携チーム（区役所・区社協・地域ケアプラザ）が一体となって、ともに取り組んでいく必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	----------	---------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	社会福祉法107条、とつかハートプラン補助金交付要綱、とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）策定・推進委員会運営要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

平成28年度より第3期とつかハートプランが始まり、連合・地区社協エリアごとで推進しているため、地域の特性に合った、きめ細やかな取組が進められています。引き続き、地域連携チームの支援のもと、地域の皆さまが主体となって取り組んでいくことができること、取組がつながり、継続・発展していくこと、地域包括ケアシステムの構築と連携しながら、計画を推進していくことを目指しています。また、平成33年度からは第4期計画がスタートするため、平成31年度は第3期計画を踏まえた第4期計画策定に取り組んでいく必要があります。

【実施内容】

- 《とつかハートプランの推進》
 - ・区計画と地区別計画の取組が進むよう、とつかハートプラン策定・推進委員会を開催するとともに、地区別計画推進委員会を支援します。
 - 《18地区情報共有連絡会の開催》
 - ・地区別計画の活動支援を行うため、また地域を越えた共有の場を確保するために、18地区情報共有連絡会を開催します。
 - 《とつかハートプラン取組推進支援（補助金）》
 - ・計画の推進に沿った地域活動を支援する補助金を交付します。
 - 《とつかハートプランの普及啓発》
 - ・とつかハートプランの周知や“こころんマスコット”が、地域の繋がりづくりの活動の目印として寄与できるように、広報を行うとともに、啓発グッズを作成し、ハートプラン推進に関わる地域の活動やイベントで活用します。
 - 《地域連携チーム研修》
 - ・地域連携チームのメンバーが、地域との連携の中で必要となる知識や技術を習得することができるよう、区政推進課地域力推進担当と協力しながら実施します。
 - 《第4期ハートプラン策定》
 - ・第4期とつかハートプランの策定に際し、次期の区計画、地区別計画の策定に資する調査等を実施します。

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
とつかハートプランの推進	重 230	重 151	79	実施回数の変更による増
18地区情報共有連絡会の開催	重 141	重 21	120	実績に基づく増
とつかハートプラン取組推進支援	重 808	重 1,008	△ 200	実績に基づく減
とつかハートプランの普及啓発	重 541	重 3,086	△ 2,545	実績及び見直しによる減
地域連携チーム研修	重 98	重 75	23	実績に基づく増
第4期とつかハートプラン策定	重 3,004	0	3,004	新規
事業費合計	4,822	4,341	481	
内 自主企画事業費	4,822	4,341	481	
内 重点事業	4,822	4,341	481	

【根拠とするデータ等】

人口、世帯数、要介護認定者数、将来人口、年齢別人口推計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	松本 真佐人	堀内 智美	谷口 洋一

(戸塚 区 - 33)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚 区 高齢・障害支援 課]

No.	34
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	～地域で支える～こころの健康福祉ネットワーク事業
-----	--------------------------

特記事項	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	1

事業評価書番号	39
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	992					992
前年度	983					983
増△減	9	0	0	0	0	9

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算 事業費	900	900	990
メリット+一般財源	900	900	990
決 算 事業費	900	893	960
メリット+一般財源	900	893	960

歳出	32年度	33年度
予 算 事業費	1,001	1,001
一般財源	1,001	1,001

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
(無)

事業の概要(目的)	精神障害者の地域生活を支援する目的で、身近な地域ケアプラザで精神障害者向けの活動支援と普及啓発を行います。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<p>30年3月末現在の戸塚区の精神保健福祉手帳所持者数は2,756人で、18区中1位です。また区内には精神科の入院病床が多数存在しています。精神障害者の地域生活を支援するために、①住み慣れた地域の中に安心して過ごせる場所を作ること、②関係機関との連携を図りながら、支援体制の強化を協働で進めていくこと、③精神障害に関わる普及啓発活動を継続して実施していくことが必要です。</p>
地域課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	障害者基本法、障害者総合支援法、精神保健および精神障害者の福祉に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

精神障害当事者向けの活動支援のため地域ケアプラザを会場とした通称「あったまり場」を定期的開設します。活動を通じ精神障害者への理解を深め、地域への普及啓発を行います。

【実施内容】

精神障害当事者向けの活動支援の実施「あったまり場事業」
身近な地域ケアプラザで精神障害者の活動支援を行い、当事者相互の支えあいを通じたエンパワメント（力を伸ばす）を図るとともに、地域のボランティアにも支援者として参加していただくことで、地域啓発の一助とします。なお、実施にあたり戸塚区生活支援センターや精神障害者を対象として活動する団体と連携します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
精神障害当事者向けの活動支援の実施「あったまり場事業」	自 992	自 983	9	消費税率増による増
事業費合計	992	983	9	
内訳				
自主企画事業費	992	983	9	
重点事業	0	0	0	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

横浜市こころの健康相談センター集計値（29年度版）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	高瀬 健次	小池 美恵子	上田 美穂

(戸塚 区 - 34)

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

No.	35
-----	----

[戸塚 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名 戸塚区高齢者見守りネットワーク事業	特記事項		中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 14 2	事業評価 書番号 40 事業評価 書番号
	中期計画-38の政策	○		
	中期計画-行政運営			
	中期計画-財政運営			
	重点事業			
	新規・拡充			
	温暖化対策関連事業			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,161					3,161
前年度	2,072					2,072
増△減	1,089	0	0	0	0	1,089

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	2,039	2,448	2,078	予算	事業費	3,161	3,161
	メリット+一般財源	2,039	2,448	2,078		一般財源	3,161	3,161
決算	事業費	1,977	2,319	1,941	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,977	2,319	1,941	有:件名()、日付(年月)			
				無				

事業の概要 (目的)	地域の人々や事業者、ケアプラザと連携をとりつつ「見守り・声かけ」を中心とした活動を行うことで、孤立等の不安を抱えるひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮し続けることを目的とします。
------------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・とつかハートプラン(戸塚区地域福祉保健計画)策定に関する地域懇話会などで、ひとり暮らし高齢者等が安心して地域で暮らし続けるため「地域で互いに支え合えるしくみづくり」は緊要な課題となっています。 ・高齢者の孤独死や行方不明問題等の課題を解決するためにも、ひとり暮らし高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の人々や事業者の参加・協力により「見守り・声かけ」を中心とした活動が行われるしくみが必要となっています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	戸塚区地域ネットワーク訪問事業実施要綱、戸塚区地域ネットワーク見守り事業実施要綱、横浜市認知症高齢者地域支援事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】									
1 地域ネットワーク訪問事業 ひとり暮らし高齢者等訪問実施状況の推移(各年度3月分件数)(単位:件)									
	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み			
訪問実績延数	7,280	7,912	8,217	7,755	8,724	9,100			
訪問員数	353	503	435	442	423	-			
2 地域ネットワーク見守り事業									
(1) 協力事業者等からの通報件数 (単位:件)			(2) 登録事業者の推移(年度末時点の登録数)(単位:者)						
25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
29	26	25	31	30	72	369	373	383	371
3 認知症高齢者等SOSネットワーク事業 「みつけてネット」登録者数(単位:人)									
	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度末登録者数				
新規	56	56	84	61	191				
削除	46	0※	3	7					

【実施内容】	※H28.2月要綱改正に伴い全員再度登録を行ったため削除が0件
《地域ネットワーク訪問事業》	
◇ 定期訪問・支えあい体制づくりについて、戸塚区社会福祉協議会への委託事業	
＜委託内容＞	
(1) 各地区社会福祉協議会による訪問員(民生委員、友愛活動員等)の定期的な「見守り・声かけ」活動の実施	
(2) 地区内の訪問活動の情報交換や連絡調整を行うための「戸塚区地域ネットワーク訪問事業地区連絡会」の開催(各地区年4回)	
(3) 訪問員のスキルアップのための研修会の実施など訪問員や福祉ボランティアの確保・育成	
(4) 区内全体の情報交換及び連絡調整のための「戸塚区地域ネットワーク訪問事業代表者会議」の実施	

様式3-1

◇ ひとり暮らし高齢者（65歳～74歳）アンケートの実施

訪問・見守りのニーズを把握し事業の充実を図るため、民生委員及び地域ケアプラザへの個人情報提供について意向確認を行います。（前回H26年度実施 H27年度名簿提供）

《地域ネットワーク見守り事業》

- (1) 地域全体で高齢者等を見守り、安否の日常的な把握や異変が確認された時の的確な対応を推進するため、地域全体での「ゆるやかな見守りの体制」の充実を図ります。
- (2) 郵便配達員や新聞配達員、電気・ガス等の検針員等の「見守り協力事業者」と地域ケアプラザとの連携を強化します。
- (3) 地域のネットワークの一層の充実を図るため、戸塚警察署や戸塚消防署、戸塚区社会福祉協議会等の「見守り協力機関」や「見守り協力事業者」等で情報共有や意見交換等をする場として、「みまもりネット」連絡会を開催します。
- (4) 今後、「見守り」の対象者が増加していく中で、より多くの区民の方に本事業を知っていただき、地域全体で高齢者等を見守る体制を強化するため、広報を積極的に行います。

《認知症高齢者等SOSネットワーク事業》（健康福祉局の認知症支援事業の補完）

認知症高齢者等の行方不明発生時等に関係機関等による連絡・調整により、早期に発見し保護につなげます。また、関係機関との連絡会を開催し、情報共有や意見交換等を通じて連携強化を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域ネットワーク訪問事業	自 1,877	自 775	1,102	アンケート実施による増
地域ネットワーク見守り事業	自 1,168	自 1,096	72	印刷製本費の増
認知症高齢者等SOSネットワーク事業	自 116	自 156	△ 40	普及啓発物品の減
地域包括ケアシステム構築推進事業	自 0	自 45	△ 45	区配対応による減
事業費合計	3,161	2,072	1,089	
内 自主企画事業費	3,161	2,072	1,089	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

町丁別世帯人員別世帯数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害係
	高瀬 健次	石川 令	宗川 由香里

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[戸塚区 生活衛生課]

No.	36
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名
食と暮らしの安全・安心応援事業 【前年度：快適な暮らし応援事業～食の安全・生活衛生の強化～】

特記事項
中期計画-38の政策 ○
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充 ○
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	4

事業評価書番号	41
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,163					1,163
前年度	517					517
増△減	646	0	0	0	0	646

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	421	432	610
メリット+一般財源	421	432	610
決算 事業費	464	555	755
メリット+一般財源	464	555	755

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	826	826
一般財源	826	826

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年月)
無

事業の概要(目的)	食中毒・感染症・薬物乱用による健康被害の防止、ペットの適正飼育の推進、飼い主のいない猫対策等により、区民の安全で快適な生活を確保します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	ノロウイルスによる食中毒や集団感染が依然と市内で多数発生しており、特に抵抗力の弱い子どもや高齢者の健康被害を防ぐために保育施設や高齢者福祉施設等への衛生指導・助言、啓発が必要です。また、加熱不十分な肉によるカンピロバクターや腸管出血性大腸菌O157の食中毒も多発しており、未然防止のためにも焼鳥屋や焼肉店への指導・啓発を強化する必要があります。社会問題となっている薬物乱用についても、使用の広がりを見せている若者層に対する啓発が重要です。飼い主のいない猫への不適切な給餌に関する相談が多数寄せられており、繁殖制限やルールに基づく外猫の管理に関する啓発や対策の支援を、ボランティアと行政が協調して強力に推進する必要があります。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	----------	-----------	--------

2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市猫の適正飼育ガイドライン、横浜市食品衛生監視指導計画、横浜市環境衛生業務実施計画、薬事監視指導計画 等
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

(単位：回、件、冊)

	28年度	29年度	30年度(見込)	30年度以降の事業展開
食中毒・感染症予防に関する啓発回数	37	40	40	啓発の継続
犬・猫等に関する苦情対応件数	465	578	550	啓発/支援を担うボランティアの支援
ハチに関する苦情対応件数	410	500	500	補助金の廃止に伴う自主駆除の支援
災害時に向けたペット対策に関する啓発回数/ペット手帳配布数	9	9/2,500	9/2,500	飼い主に向けた啓発を継続

【実施内容】

《食中毒・感染症・薬物乱用防止等対策事業》

- 子どもや高齢者利用施設での食中毒・感染症による健康被害を予防するため、区民への啓発・区内施設の衛生点検を実施
- (1) 区民広間で、食中毒・感染症の基礎知識や予防方法を啓発するパネル展を開催
- (2) 保育所やグループホーム等の社会福祉施設を対象に、衛生点検や講習会、手洗い実習等を実施
- (3) 主に若者(大学生等)を対象にした薬物乱用防止啓発を実施【拡充】

《ハチ対策及び動物適正飼育啓発事業》

- 区民からの苦情相談が多いハチの巣や飼い主のいない猫問題について、区民への啓発及び対策の支援
- (1) 区民広間で、ハチの巣の早期発見・早期駆除を啓発するパネル展を開催し、ハチによる刺傷事故を防止
- (2) ハチの巣の駆除機材の貸出を行い、安全な自主駆除を支援
- (3) 災害時に向けた飼い主の備えや地域防災拠点での受入ルール整備について、ペット手帳等を活用した啓発を実施
- (4) 飼い主のいない猫対策を行政とともに担うボランティアへの活動支援【拡充】

様式3-1

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食中毒・感染症・薬物乱用防止等対策事業	自 463	自 261	202	薬物乱用防止啓発拡充等に伴う増
ハチ対策及び動物適正飼育啓発事業	自 700	自 256	444	啓発冊子印刷等の増
事業費合計	1,163	517	646	
内 自主企画事業費	1,163	517	646	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

市内食中毒発生件数（平成29年）、県内薬物事犯検挙数（平成29年）
 市内飼い主のいない猫苦情受付件数（平成29年度）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	環境衛生係
	市川 英毅	笥 佳世子	川崎 俊明

平成31年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【統合事務事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	31年度		30年度		増△減(31-30)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	統合事務費	31,654	31,309	31,495	31,180	159	129
2	広報よこはま発行事業各区事業費	9,764	8,540	10,032	8,808	△ 268	△ 268
3	市民相談事業各区事業費	1,877	1,877	1,859	1,859	18	18
4	クリーンタウン横浜事業	2,592	2,592	2,413	2,413	179	179
5	消費生活推進員活動事業	1,010	1,010	905	905	105	105
6	スポーツ推進委員支援費	3,926	3,926	2,269	2,269	1,657	1,657
7	青少年指導員事業	3,016	3,016	4,360	4,360	△ 1,344	△ 1,344
8	学校・家庭・地域連携事業	1,025	1,025	1,010	1,010	15	15

(様式5-1) 平成31年度 事業計画書【統合事務事業費】

[戸塚 区 総務 課]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	その他	事業開始年度	平成26年度
------	--------	---------	-----	--------	--------

事業名	統合事務費	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 1
		中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	31,654		345			31,309
前年度	31,495		315			31,180
増△減	159	0	30	0	0	129

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	27,814	30,798	31,015	予算	事業費	31,654	31,654
	メリット+一般財源	27,519	30,503	30,720		一般財源	31,309	31,309
決算	事業費	30,419	31,705	30,850	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	30,124	31,411	30,555				

事業の概要(目的)	区役所と福祉保健センターの運営における効率的かつ安定した運営のための事務経費
-----------	--

(説明)

運営方針等との関係

【実績の推移・今後見込み】

【実施内容】

区役所と福祉保健センターの運営における効率的かつ安定した運営のための事務経費

【事業費の内訳】

(単位：千円)

細目事業	本年度	前年度	差引	説明
総務課	7,728	7,931	△ 203	実績による減
区政推進課	710	585	125	実績による増
地域振興課	1,249	949	300	実績による増
戸籍課	4,329	4,283	46	実績による増
税務課	453	362	91	実績による増
福祉保健課	2,178	2,683	△ 505	実績による減
高齢・障害支援課	3,300	3,345	△ 45	実績による減
こども家庭支援課	2,628	2,290	338	実績による増
生活支援課	8,875	8,843	32	実績による増
土木事務所	204	224	△ 20	実績による減
合計	31,654	31,495	159	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整 係
	齋藤 真美奈	松隈 さやか	小室 浩正

様式3-1

(様式6-1) 平成31年度 事業計画書【統合事務事業費】

[戸塚 区 区政推進 課]

No.	2
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	広報よこはま発行事業各区事業費
-----	-----------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	3
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	9,764		1,224			8,540
前年度	10,032		1,224			8,808
増△減	△ 268	0	0	0	0	△ 268

歳出	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	10,085	10,085	10,035
決算 メリット+一般財源	8,765	8,861	8,811
決算 事業費	8,810	9,911	9,763
決算 メリット+一般財源	7,584	8,694	8,521

歳出	32年度	33年度
予算 事業費	9,764	9,764
決算 一般財源	8,540	8,540

方針に関する決裁 種別()
 有() 無() 日付(年 月)

事業の概要(目的)	区民ニーズを反映した重点広報計画を共有し、職員の広報マインドを高めながら、より分かりやすく区政情報を発信していきます。様々な広報資源を活用して効果的で分かりやすい広報事業を推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

地域ニーズや課題の多様化に伴い、行政の施策もきめ細かく多様なものとなっていますが、これらの行政情報を確実に伝えることが、区民一人ひとりが抱える課題解決に不可欠です。
 また、区民意識調査(平成29年度実施)によると、広報よこはま戸塚区版は、区の情報の入手先として区民の約7割の方が利用する貴重な情報収集源となっています。広報よこはま戸塚区版1月号で行っている読者アンケートの結果もあわせ、これらを確実に編集方針に反映していくことが重要です。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	8 その他		
-------------	-----------	-------	--	--

2 運営方針等との関係

平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
 「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」

3 根拠法令・要綱等

【実績の推移・今後見込み】

○広報よこはま戸塚区版発行部数

(単位：部)

	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み
発行部数	1,277,500	1,284,600	1,292,200	1,293,100	1,295,600	1,291,500	1,292,400

【実施内容】

広報よこはま戸塚区版を市版とあわせ月1回発行します。
 また、区民対象の健康診断などをお知らせする「戸塚福祉保健センターからのお知らせ(保存版)」を年1回、3月号に挟み込みます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
広報よこはま戸塚区版発行	9,764	10,032	△ 268	増ページ月数の減
			0	
事業費合計	9,764	10,032	△ 268	

【根拠とするデータ等】

《広報よこはま戸塚区版発行事業》過年度発行部数実績

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	米満 東一郎	上田 薫子	田中 健

様式3-1

(様式6-1) 平成31年度 事業計画書【統合事務事業費】

[戸塚 区 区政推進 課]

No.	3
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成17年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名 市民相談事業各区事業費	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 2
	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,877					1,877
前年度	1,859					1,859
増△減	18	0	0	0	0	18

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,957	1,911	1,859	予算	事業費	2,000	2,000
	メリット+一般財源	1,957	1,911	1,859		一般財源	2,000	2,000
決算	事業費	1,911	1,905	1,856	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	1,911	1,905	1,856	有:件名()、日付(年月)			

無

事業の概要 (目的)	区民の皆様からの要望、陳情などの広聴事業により市政への反映、多岐にわたる区民相談に的確に対応します。
---------------	--

(説明)			
1 地域の課題等	・法律的な問題を抱えた区民の方々に対して、解決の糸口をつかむための機会を提供する必要があります。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 5 区民アンケート 8 その他		
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「きめ細やかなサービスによる親しまれる区役所づくり」		
3 根拠法令・要綱等			
【実績の推移・今後見込み】 法律相談は、区民の皆様からのニーズが高く、26年度は相談予約の希望をいただいた日から5～6週間後の予約しか受け付けることができない状況にあったので、27年度からは例年実施されてきた毎週金曜日の午後に加え、隔週火曜日の午後にも相談を実施し、相談回数を増やしました。結果として、混雑状況の緩和につながったので、31年度も同様の頻度で実施する予定です。			
(単位：回)			
法律相談回数	25年度実績 49 26年度実績 51 27年度実績 74 28年度実績 74 29年度実績 72 30年度予定 72		
【実施内容】 ・特別相談（法律相談、公証相談、行政相談、交通事故相談、行政書士相談） ・区民向け法律講座の開催（内容：過去の特別相談からニーズの高いテーマを選定し、講座を開催します。）			
【事業費の内訳】			
細目事業名	本年度 前年度 差引 説明		
区民相談事業	1,877 1,859 18 実績による増		
	0		
事業費合計	1,877 1,859 18		
【根拠とするデータ等】 法律相談回数実績			

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 米満 東一郎	係長 上田 薫子	広報相談 係 野山 美奈
--------------------	--------------	-------------	-----------------

様式3-1

(様式6-1) 平成31年度事業計画書【統合事務事業費】

[戸塚区 地域振興 課]

No.	4
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名 クリーンタウン横浜事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 11 主な施策番号 6	事業評価 書番号 12
	中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,592					2,592
前年度	2,413					2,413
増△減	179	0	0	0	0	179

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	2,960	2,960	2,855	予算	事業費	2,592	2,592
	メリット+一般財源	2,960	2,960	2,855		一般財源	2,592	2,592
決算	事業費	2,635	2,577	2,601	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	2,635	2,577	2,601	有:件名()、目付(年月)			
				無				

事業の概要 (目的)	戸塚駅及び東戸塚駅周辺の美化推進員によるポイ捨て禁止啓発や清掃活動及び戸塚駅周辺清掃委託を実施します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

30年3月に、戸塚駅周辺は「喫煙禁止地区」に指定されていますが、東戸塚駅については今後も継続的に歩きたばこ・ポイ捨て防止に取り組む必要があります。さらに、喫煙者が多いことから、受動喫煙についても問題になっています。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	6 区民要望		
-------------	------------	--------	--	--

2 運営方針等との関係

平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
「活気に満ちた魅力と豊かな自然あふれるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等

横浜市空き缶等及び吸殻等の散乱の防止に関する条例、区美化推進員要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 美化推進員啓発清掃活動

(単位：日)

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
年間延活動日数	95	96	96	96	96

2 クリーンタウン横浜事業

毎月1回戸塚駅周辺地区の清掃を業務委託による街の美化を推進します。

【実施内容】

《美化推進員啓発清掃活動》

31年度は、美化推進重点地区に5人を配置し、年間96回の清掃活動及びポイ捨て禁止の啓発活動を実施します。

《クリーンタウン横浜事業》

美化重点地区の清掃委託による街の美化を推進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
美化推進員啓発清掃活動	864	768	96	実績に基づく増
クリーンタウン横浜事業	1,728	1,645	83	実績に基づく増
事業費合計	2,592	2,413	179	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	黒川 正人	青田 永吾	田中 芳晴

様式3-1

(様式6-1) 平成31年度事業計画書【統合事務事業費】

[戸塚区 地域振興 課]

No.	5
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名 消費生活推進員活動事業	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 14 6	事業評価 書番号 15
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,010					1,010
前年度	905					905
増△減	105	0	0	0	0	105

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	878	878	865	予算	事業費	1,010	1,010
	メリット+一般財源	878	878	865		一般財源	1,010	1,010
決算	事業費	865	1,428	859	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	865	1,428	859	有:件名()、目付(年月)			

(無)

事業の概要 (目的)	消費者をめぐる社会経済環境はめまぐるしく変化しており、市民の消費生活は様々な面において大きな影響を受けています。このような中で、消費生活推進員が地域や区と協力して適切な情報を発信し、安全で快適な消費生活を実現していきます。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	消費生活に関する社会経済状況が変化している中で、消費生活推進員は今後さらに地域に根ざした活動を進めていく必要があります。消費生活に関する知識・情報の提供に加え、消費者被害の防止に向けた啓発、リサイクル等環境に配慮した消費行動の推進、商店街等との意見交換など、地域と連携して活動を行ってまいります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方 「人と人がつながるまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	消費者基本法、消費者教育の推進に関する法律、横浜市消費生活条例、横浜市消費生活条例施行規則、横浜市消費生活推進員要綱、横浜市消費生活推進員戸塚区活動助成金交付要領

【実績の推移・今後見込み】

(単位：人、回)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
委嘱者数	183	175	178	173	173	173*
地区活動回数	101	91	95	96	96*	96*
活動参加者数	748	1,725	1,286	3,240	3,000*	3,000*

*見込み数値

【実施内容】

- 区自主事業に対する助成
各地区代表及び副代表が、それぞれの活動についての情報共有を行うと同時に、区全体を対象として活動を行います。(地区代表会議の開催、勉強会・講演会の開催、施設見学会の開催、消費生活総合センター消費生活教室の共催等)
- 地区活動に対する助成
消費生活推進員が、各地区の地域住民に対して地域に根ざした活動を行います。(消費者被害未然防止に関する啓発講座の開催、高齢者の見守り活動、環境に配慮した購買行動の推進、商店街等との意見交換、等)
- 広報活動に対する助成
消費生活推進員の活動紹介及び消費生活の認知度向上を目指し、区庁舎にてものづくり自慢展の中で消費生活展を開催します。また、年に一度活動のまとめとして消費生活推進員だよりを発行します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域活動費	1,010	905	105	29年度実績に基づく増
			0	
事業費合計	1,010	905	105	

様式3-1

【根拠とするデータ等】

データ活用にはなじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動 係
	卯都木 隆幸	青田 永吾	古田 汀

(戸塚 区 - 5)

様式3-1

(様式6-1) 平成31年度 事業計画書【統合事務事業費】

[戸塚区 地域振興 課]

No.	6
-----	---

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成7年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名 スポーツ推進委員支援費	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価書番号	23
	中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 7 2	事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,926					3,926
前年度	2,269					2,269
増△減	1,657	0	0	0	0	1,657

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	3,519	2,219	3,469	算	事業費	2,269	3,926
	メリット+一般財源	3,519	2,219	3,469		一般財源	2,269	3,926
決算	事業費	3,229	2,148	3,314	算	方針に関する決裁種別() 有:件名()、目付(年月) 無		
	メリット+一般財源	3,229	2,148	3,314				

事業の概要(目的)	区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るため、スポーツ推進委員の活動を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

区民の日常生活における生涯スポーツ・レクリエーション活動を振興し、心身の健康やリフレッシュ、地域交流の活性化を推進する必要があります。

地域の課題等の収集手段 6 区民要望

2 運営方針等との関係 平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「人と人がつながるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 スポーツ基本法・横浜市スポーツ推進委員規則・横浜市スポーツ推進委員推薦要綱・戸塚区スポーツ推進委員活動補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】

スポーツ推進委員事業

各地区の事業に毎年多くの区民が参加しています。また、横浜マラソンや世界トライアスロンといった、横浜市で行う大きなスポーツイベントにも、沿道警備などの運営に携わり、地域の活動だけでなく、横浜市のスポーツ事業においても、大きな役割を担っています。2年任期のため、隔年で委嘱式を開催しています。

【実施内容】

スポーツ推進委員事業

スポーツ推進委員連絡協議会事業の運営及び運営費補助

スポーツ推進委員委嘱式

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
スポーツ推進委員事業	3,869	2,269	1,600	委嘱年度による増
スポーツ推進委員委嘱式	57	0	57	委嘱式による増
			0	
事業費合計	3,926	2,269	1,657	

【根拠とするデータ等】

データ活用にはなじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	卯都木 隆幸	伊藤 英幸	木幡 有希

様式3-1

(様式6-1) 平成31年度 事業計画書【統合事務事業費】

[戸塚 区 地域振興 課]

No.	7
-----	---

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名 青少年指導員事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	26
	中期計画-行政運営			33	1		事業評価書番号	
	中期計画-財政運営							
	重点事業							
	新規・拡充							
	温暖化対策関連事業							

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,016					3,016
前年度	4,360					4,360
増△減	△ 1,344	0	0	0	0	△ 1,344

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	2,731	4,326	3,131	予算	事業費	4,670	3,010
	メリット+一般財源	2,731	4,326	3,131		一般財源	4,670	3,010
決算	事業費	2,559	4,204	3,095	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	2,559	4,204	3,095	有:件名()、日付(年月)			
					無			

事業の概要(目的)	青少年指導員活動に対し、交付金を交付します。
-----------	------------------------

(説明)

1 地域の課題等
 少子化、就労形態等の社会的な変化等により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で青少年の育成に取り組む必要があります。また、地域で活動する団体間の交流を促進し、市民活動のより一層の活性化を図っていく必要があります。
 青少年を健全に育成していくために、地域活動の促進や社会環境健全化への取組を進めることが必要となっています。

地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望
-------------	-------------

2 運営方針等との関係
 平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方「人と人とがつながるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等
 横浜市青少年指導員要綱、戸塚区青少年指導員活動交付金交付要領

【実績の推移・今後見込み】

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度見込み
青少年指導員数	205	197	197	210	212	205	205

【実施内容】
 青少年指導員活動交付金として戸塚区青少年指導員連絡協議会に交付
 ・区協議会活動(児童文化作品展、全体研修会、市・区の行事への参加・協力)
 ・18地区協議会活動(野外活動、地域とのふれあい活動、児童文化作品展)
 ・社会環境実態調査地区パトロール活動、青少年健全育成啓発キャンペーン活動

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
青少年指導員事業	3,016	4,310	△ 1,294	委嘱替えがないことによる減
青少年指導員委嘱式	0	50	△ 50	委嘱替えがないことによる減
事業費合計	3,016	4,360	△ 1,344	

【根拠とするデータ等】

データ活用には、なじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	卯都木 隆幸	情野 純平	安藤 晋也

様式3-1

(様式6-1) 平成31年度 事業計画書【統合事務事業費】

No.	8
-----	---

[戸塚 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	学校連携	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	------	--------	--------

事業名	学校・家庭・地域連携事業	特記事項 中期計画-38の政策 ○ 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号 25 6	事業評価 書番号	32
				事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,025					1,025
前年度	1,010					1,010
増△減	15	0	0	0	0	15

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	940	940	1,010	予算	事業費	1,025	1,025
	メリット+一般財源	940	940	1,010		一般財源	1,025	1,025
決算	事業費	745	904	967	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	745	904	967	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	区内の11中学校区において、学校・家庭・地域とが協働で行う事業を通じて、青少年の健全な育成を図ります。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等

少子化や就労形態等の社会的な変化等により、家族や周りの大人・友人とのコミュニケーションが不足した青少年が多くなっており、地域で青少年の育成に取り組む必要があります。

地域の課題等の収集手段 7 関係団体からの要望

2 運営方針等との関係 平成30年度戸塚区運営方針 目標達成に向けた取組の考え方
「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」

3 根拠法令・要綱等 戸塚区学校・家庭・地域協働事業交付金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】 (単位：事業)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度見込み
交付事業数	22	24	24	24	26	27	27	27

【実施内容】

各中学校区実行委員会に対し、総会開催経費等に充てる基本交付金と地域の特性を生かして中学校区毎に学校、家庭、地域が連携、協働して実施する青少年の健全育成事業に対する事業交付金を交付します。事業交付金の交付にあたっては、全中学校区実行委員会に対してヒアリングを行うとともに、地域・学校・関係団体代表より意見を聴取し、交付額を決定します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
学校・家庭・地域連携事業	1,025	1,010	15	資料作成費の増
			0	
			0	
事業費合計	1,025	1,010	15	

【根拠とするデータ等】

データ活用にはなじまない事業です。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	金森 裕一	唐澤 英和	壽美 恭代

平成31年度 戸塚区個性ある区づくり推進費【区庁舎・区民利用施設管理費】一覧

(単位：千円)

事業名	31年度		30年度		増△減(31-30)	
	総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
区庁舎等	70,523	49,597	72,033	52,981	△ 1,510	△ 3,384
行政サービスコーナー	1,659	1,652	1,659	1,652	0	0
区版市民活動支援センター	35,463	35,463	35,234	35,234	229	229
土木事務所	11,623	11,552	11,234	11,168	389	384
公会堂	31,219	31,219	30,858	30,858	361	361
区民利用施設(地区センター他委託館)	396,477	396,405	391,477	391,405	5,000	5,000
区民利用施設(広場・遊び場)	1,367	1,367	1,376	1,376	△ 9	△ 9
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,800	7,800	5,550	5,550	2,250	2,250

平成31年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[戸塚区 総務課]

(単位：千円)

事業区分	区庁舎等	施設区分	区庁舎 駐車場 車両	担当	総務課	
					担当者： 磯田 TEL	予算調整係 866-8306

区分	金額	財源内訳				一般財源	事業評価 書番号	2
		国・県	諸収入					
本年度	70,523		20,926			49,597		
前年度	72,033		19,052			52,981		
増△減	△ 1,510	0	1,874	0	0	△ 3,384		

	27年度	28年度	29年度
予算 事業費	77,331	79,040	75,383
決算 メリット+一般財源	54,210	53,100	53,608
決算 事業費	79,694	78,901	74,015
決算 メリット+一般財源	59,799	78,997	53,091

	32年度	33年度
予算 事業費	70,523	70,523
決算 一般財源	49,597	49,597

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

(事業目的・概要)

戸塚区(総合)庁舎、駐車場及び公用車等の管理運営を行います。
(根拠法令等)
消防法、建築基準法、駐車場法、道路運送車両法、租税特別措置法、
高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律、
建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市駐車場条例等
(施設概要等)

施設区分	名称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
区庁舎	戸塚区総合庁舎 (平成25年3月1日)	戸塚区戸塚町16番地17	RC造、SRC造、S造 地上9階地下3階	区庁舎・区文・交通広場・ 駐車場・駐輪場
公用車			区長車1台、総務部庁用車8台、 福祉保健センター庁用車12台	

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				(29年度決算) 20,924,002円
目的外使用料	163	163	0	広告モニター 163,164円
建物貸付収入	1,500	1,020	480	自動販売機 1,500,000円
広告料収入	2,616	2,616	0	広告モニター 2,616,000円
光熱水費負担金	16,409	15,085	1,324	光熱水費負担金 16,406,453円
古紙売却収入	238	168	70	古紙売却収入 238,385円
合計	20,926	19,052	1,874	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
<管理運営>	5,349	7,931	△ 2,582	
11節(1)消耗品費	施設維持用 2,000	施設維持用 3,032	△ 1,032	実績による減
11節(2)燃料費	自家発電機用 100	自家発電機用 100	0	前年度同額
11節(4)印刷製本費	マニフェスト 15	マニフェスト 15	0	前年度同額
13節(1)清掃設備保守委託料	667	734	△ 67	
	設備等保守点検 0	0	0	
	清掃、ごみ処理 667	734	△ 67	実績による減
13節(4)企画調査その他委託料	1,000	3,500	△ 2,500	整備個所精査による減
14節(1)使用料及び賃借料	庁舎環境整備委託 717	庁舎環境整備委託 0	717	
	AEDレンタル 144	0	144	予算計上事業の変更による増
	寝具レンタル 573	0	573	予算計上事業の変更による増
18節(1)庁内備品費	施設維持用 800	施設維持用 500	300	更新による増
19節(40)会費及び負担金	講習受講料 50	講習受講料 50	0	前年度同額
<管理費(公共料金)>	59,950	58,658	1,292	実績による増
<公用車管理運営>	5,224	5,444	△ 220	
11節(2)燃料費	ガソリン代 780	ガソリン代 721	59	消費税増税による増
12節(4)手数料	定期点検・タイヤ交換 100	定期点検・タイヤ交換 437	△ 337	実績による減
14節(1)使用料及び賃借料	4,321	4,263	58	
	車両リース料 4,315	4,257	58	消費税増税による増
	駐車料金・高速道路代 6	6	0	前年度同額
27節公課費	自動車重量税 23	23	0	前年度同額

(うち税務車両)			
11節(2)燃料費	137	153	△ 16
14節(1)使用料及び賃借料	121	741	△ 620
車両リース料	115	735	△ 620
駐車料金・高速道路代	6	6	0
合計	70,523	72,033	△ 1,510

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係
	齋藤 真美奈	松隈 さやか	磯田 直輝

(戸塚区 - 区庁舎)

平成31年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[戸塚 区 総務 課]

(単位：千円)

事業区分	区庁舎等	施設区分	行政サービスコーナー	担当	総務 課	予算調整 係
					担当者： 磯田	TEL 866-8306

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	3
		国・県	諸収入					
本 年 度	1,659		7			1,652		
前 年 度	1,659		7			1,652		
増△減	0	0	0	0	0	0		

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予 算	事業費	1,711	1,672	1,693	予 算	事業費	1,660	1,660
	メリット＋一般財源	1,706	1,667	1,688		一般財源	1,652	1,652
決 算	事業費	1,651	2,227	1,671	方針に関する決裁 種別()			
	メリット＋一般財源	1,645	2,174	1,667	有:件名()、日付(年 月)			

(事業目的・概要)
東戸塚行政サービスコーナーの管理運営を行います。

(根拠法令等)
横浜市行政サービスコーナー規則

(施設概要等)

名 称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
東戸塚行政サービス コーナー (平成元年10月30日)	戸塚区品濃町692 (平成17年1月4日移 転)	鉄骨プレハブ造 延床156㎡	JR東戸塚駅連絡施設内

(積算内訳) (単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				(29年度決算)
古紙売却収入	7	7	0	古紙売却収入 7,539円
合計	7	7	0	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
管理運営経費	596	574	22	
11節(4)印刷製本費	ルート回収 5	ルート回収 5	0	前年度同額
13節(1)清掃設備保守委託料	534	512	22	
警備委託	175	173	2	消費税増税による増
清掃委託	100	100	0	前年度同額
自動ドア保守点検	54	54	0	前年度同額
消防設備点検	60	60	0	前年度同額
ルート回収	145	125	20	実績による増
14節(1)使用料及び賃借料	マットレンタル 57	マットレンタル 57	0	前年度同額
<管理費(公共料金)>	1,063	1,085	△ 22	実績の減
合計	1,659	1,659	0	

資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	予算調整係
	齋藤 真美奈	松隈 さやか	磯田 直輝

(戸塚区 - 行)

(様式4-1)

平成31年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[戸塚 区 地域振興 課]

(単位：千円)

事業区分	区庁舎等	施設区分	区版市民活動支援センター	担当	地域振興 課	地域活動 係
					担当者： 山崎	TEL 866-8416

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	5
		国・県	諸収入					
本 年 度	35,463					35,463	事業評価 書番号	
前 年 度	35,234					35,234		
増△減	229	0	0	0	0	229		

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予 算	事業費	35,234	35,234	35,234	予 算	事業費	35,463	35,463
	メリット＋一般財源	35,234	35,234	35,234		一般財源	35,463	35,463
決 算	事業費	35,234	35,234	35,235	方針に関する決裁 種別()			
	メリット＋一般財源	35,234	35,234	35,235	有:件名()、日付(年 月)			

(事業目的・概要)
地域の課題について、市民や団体・グループと行政が課題を共有し、その解決について協働で取り組んでいけるような社会の実現を目指し、NPO法人と協働でとつか区民活動センターの運営を行います。

(根拠法令等)
市民活動支援センター事業展開ガイドライン、とつか区民活動センター事業実施要綱

(施設概要等)

名 称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
とつか区民活動センター (平成21年3月31日)	戸塚区川上町91-1 モレラ東戸塚3階	238.16㎡	事務室、会議室、作業スペース、情報コーナー等
戸塚区役所3階 情報コーナー (平成25年3月11日)	戸塚区戸塚町16-17 戸塚区役所3階	区民広間の一部	情報コーナー、パソコンコーナー、相談コーナー、打ち合わせスペース

(積算内訳) (単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
管理運営経費	35,463	35,234	229	
13節(4)企画調査その他委託料	24,972	24,743	229	消費税増税による増
14節(1)使用料及び賃借料	10,491	10,491	0	前年度同額
<管理費(公共料金)>	0	0	0	
合計	35,463	35,234	229	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	卯都木 隆幸	中村 航	山崎 修

(戸塚区 - 支)

平成31年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[戸塚 区 土木事務所]

(単位：千円)

事業区分	土木事務所	施設区分	土木事務所	担当	土木事務所		管理係
					担当者：	堀口	Tel 881-1621

区分	金額	財源内訳				一般財源	事業評価 書番号	4
		国・県	諸収入					
本年度	11,623		71			11,552		
前年度	11,234		66			11,168		
増△減	389	0	5	0	0	384		

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	10,500	10,736	11,315	予算	事業費	11,623	11,623
	メリット＋一般財源	10,433	10,668	11,243		一般財源	11,552	11,552
決算	事業費	9,982	10,341	11,062	方針に関する決裁種別()			
	メリット＋一般財源	9,909	10,275	10,990	有:件名()、日付(年月)			

(事業目的・概要)
戸塚土木事務所の庁舎及び車両の管理運営を行います。

(根拠法令等)
消防法、建築基準法、駐車場法、道路運送車両法、租税特別措置法、横浜市庁舎管理規則
建築物における衛生的環境の確保に関する法律、横浜市公有財産規則、横浜市駐車場条例等

(施設概要等)

施設	名称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
土木事務所	戸塚土木事務所 (昭和54年4月)	戸塚区戸塚2974-1	地上2階RC造	庁舎・事務用
土木事務所車両	監督車15台、作業車5台、パトカー1台			

(積算内訳) (単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				(29年度決算) 71,586円
光熱水費負担金	55	55	0	光熱水費負担金 55,325円
古紙売却収入	16	11	5	古紙売却収入 16,261円
合計	71	66	5	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】				
<管理運営>	2,479	2,947	△ 468	
11節(4)印刷製本費	マニユフェスト 4	マニユフェスト 4	0	前年度同額
12節(1)通信運搬費	衛星携帯電話代 118	衛星携帯電話代 118	0	前年度同額
12節(4)手数料	0	270	△ 270	実績による減
13節(1)清掃設備保守委託料	2,293	2,191	102	
	設備等保守点検委託 1,028	設備等保守点検委託 826	202	保守点検仕様の見直しによる増
	清掃、ごみ処理 [※] 1,265	清掃、ごみ処理 [※] 1,365	△ 100	実績による減
13節(4)企画調査その他委託料	0	300	△ 300	調査終了による減
14節(1)使用料及び賃借料	AED賃借料 64	AED賃借料 64	0	前年度同額
<管理費(公共料金)>	3,734	3,647	87	実績による増
<公用車管理運営>	5,410	4,640	770	
11節(2)燃料費	ガソリン代 250	ガソリン代 250	0	前年度同額
12節(4)手数料	タイヤ履き替え 270	0	270	実績による増
14節(1)使用料及び賃借料	4,850	4,350	500	
	監督車 2,533	監督車 2,133	400	リース料の増(HV車への更新)
	作業車 1,646	作業車 1,646	0	前年度同額
	パトカー 671	パトカー 571	100	リース料の増(HV車への更新)
27節(1)公課費	自動車重量税 40	自動車重量税 40	0	前年度同額
合計	11,623	11,234	389	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	管理係
	天野 実	塩田 賢一	堀口 敦貴

平成31年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[戸塚 区 地域振興 課]

(単位：千円)

事業区分	公会堂	施設区分	公会堂	担当	地域振興 課	地域活動 係
					担当者： 安藤	TEL 866-8415

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	7
		国・県	諸収入					
本 年 度	31,219					31,219	事業評価 書番号	
前 年 度	30,858					30,858		
増△減	361	0	0	0	0	361		

歳出				歳出		
予	算	27年度	28年度	29年度	32年度	33年度
事業費		1,025	34,526	30,883	31,219	31,219
メリット＋一般財源		1,025	34,526	30,883	31,219	31,219
決	算	881	34,742	31,158	方針に関する決裁 種別()	
メリット＋一般財源		881	34,742	31,158	有:件名 ()、日付 (年 月)	
(無)						

(事業目的・概要)
公会堂の建物維持管理を実施します。

(根拠法令等)
横浜市公会堂条例、横浜市公会堂条例施行規則

(施設概要等)

名 称 (開設年月日)	所在地	構造	施設内容
戸塚公会堂 (昭和53年10月11日)	戸塚区戸塚町127	RC造地下3階地上4階 延床面積1,578㎡	講堂：収容人員568人 会議室：2

(積算内訳) (単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】 光熱水費負担金				(29年度決算)
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳出】 <管理運営>	0	0	0	
11節(1)消耗品費			0	
12節(4)手数料			0	
13節(1)清掃設備保守委託料 設備等保守点検委託 清掃、ごみ処理等	0	0	0	
18節(1)庁内備品費			0	
18節(51)【資産】庁内備品費			0	
<管理費(公共料金)>			0	
<指定管理運営>	31,219	30,858	361	
13節(2)指定管理者委託料	31,219	30,858	361	
《参考》				
人件費	11,100	11,100	0	
事務費・事務経費	5,322	5,322	0	
管理費	23,958	23,958	0	
消費税	1,983	1,700	283	消費税に伴う増
その他	60	60	0	
利用料金に係る 預かり消費税の補てん額	366	288	78	預かり消費税分の増
利用料金収入	△ 11,000	△ 11,000	0	
その他収入	△ 570	△ 570	0	
合計	31,219	30,858	361	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	卯都木 隆幸	情野 純平	安藤 晋也

事業区分	区民利用施設	施設区分	地区センター他 (委託館分)	担 当	地域振興 課 担当： 安藤	地域活動 係 TEL 866-8415
------	--------	------	-------------------	-----	------------------	------------------------

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源
		国・県	諸収入			
本 年 度	396,477		72			396,405
前 年 度	391,477		72			391,405
増△減	5,000	0	0	0	0	5,000

事業評価 書番号	8
事業評価 書番号	

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予 算	事業費	399,387	391,027	390,001	予 算	事業費	396,477	396,477
	メリット＋一般財源	399,387	391,027	390,001		一般財源	396,405	396,405
決 算	事業費	401,309	389,923	389,917	方針に関する決裁 種別()			
	メリット＋一般財源	401,309	389,850	389,917	有(年月)・無			

(事業目的・概要・根拠法令、施設概要等)
別紙施設一覧のとおり

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
【歳入】				H29年度決算
目的外使用料(広告マット)	54	54	0	54,432円
目的外使用料(広告ラック)	18	18	0	18,600円
計	72	72		
【歳出】				
指定管理者制度導入施設	349,082	345,145	3,937	
13節(2)指定管理者委託料	345,905	343,195	2,710	
地区センター	241,434	238,973	2,461	消費税増税分の増
大正地区センター	32,524	32,193	331	
東戸塚地区センター	39,272	38,867	405	
上矢部地区センター	35,533	35,163	370	
戸塚地区センター	61,853	61,242	611	
舞岡地区センター	36,272	35,897	375	
踊場地区センター	35,980	35,611	369	
こどもログハウス 踊場	8,014	7,940	74	消費税増税分の増
老人福祉センター 戸塚柏桜荘	42,946	42,552	394	消費税増税分の増
コミュニティハウス	13,857	13,730	127	
倉田	13,857	13,730	127	消費税増税分の増
スポーツセンター	39,654	40,000	△ 346	天井工事実施に伴う休館による減
その他経費	3,177	1,950	1,227	
14節(1)使用料及び賃借料	1,977	1,950	27	上矢部地区センター駐車場代
13節(4)企画調査その他委託料	1,200	0	1,200	改修その他委託業務の増 (実績による増)
地区センター	720			
こどもログハウス	120			
老人福祉センター	120			
コミュニティハウス	120			
スポーツセンター	120			
その他管理委託施設	47,395	46,332	1,063	
13節(10)区民利用施設運営委託料	47,395	46,332	1,063	
コミュニティハウス	47,395	46,332	1,063	
深谷小	4,304	4,168	136	契約予定額の増
東汲沢小	8,606	8,457	149	契約予定額の増
平戸台小	8,626	8,457	169	契約予定額の増
名瀬中	8,625	8,457	168	契約予定額の増
秋葉中	4,298	4,168	130	契約予定額の増
柏尾小	4,311	4,168	143	契約予定額の増
下郷小	8,625	8,457	168	契約予定額の増
合 計	396,477	391,477	5,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	卯都木 隆幸	情野 純平	安藤 晋也

(様式4-1)

平成31年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[戸塚区 地域振興 課]

(単位：千円)

事業区分	区民利用施設	施設区分	広場・遊び場	担当	地域振興 課	地域活動係
					担当者：古田	TEL 866-8415

区分	金額	財源内訳				一般財源	事業評価 書番号	9
		国・県	諸収入					
本年度	1,367					1,367	事業評価 書番号	
前年度	1,376					1,376		
増△減	△ 9	0	0	0	0	△ 9		

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,506	1,506	1,472	予算	事業費	1,367	1,367
	メリット+一般財源	1,506	1,506	1,472		一般財源	1,367	1,367
決算	事業費	1,130	1,170	1,439	方針に関する決裁 種別() 有(年月)・無			
	メリット+一般財源	1,130	1,170	1,439				

(事業目的・概要・根拠法令、施設概要等)

別紙施設一覧のとおり

(積算内訳)

(単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
13節 委託料	650	650	0	
(4)企画調査その他委託料 遊具点検の委託	650	650	0	前年度同額
13節 委託料	522	522	0	
(10)区民利用施設運営委託料 子どもの遊び場 管理運営委託 13箇所	442	442	0	前年度同額
シルバー健康広 場管理運営委託 2箇所	80	80	0	前年度同額
16節 原材料費	63	63	0	前年度同額
町のはらっぱ				
19節 補助金	《132》	《141》	《△ 9》	
(11)町のはらっぱ運営費等補助金 町のはらっぱ管 理運営補助	《132》	《141》	《△ 9》	三角ひろば面積の減
合 計	1,367	1,376	△ 9	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	卯都木 隆幸	情野 純平	古田 汀

(戸塚区 - 広)

平成31年度区庁舎・区民利用施設管理費事業計画書

[戸塚 区 総務課・地域振興課・土木事務所]

(単位：千円)

事業区分	区庁舎・区民利用 施設修繕費	施設区分	区庁舎	担 当	総務 課	予算調整 係
			土木事務所		管理 係	
			区民利用施設		地域振興 課	地域活動係 係
			担当者： 磯田		TEL 866-8306	
担当者： 堀口	TEL 881-1621					
担当者： 安藤	TEL 866-8415					

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源	事業評価 書番号	6
		国・県	諸収入					
本 年 度	7,800					7,800		
前 年 度	5,550					5,550		
増△減	2,250	0	0	0	0	2,250		

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算 事業費	7,500	7,500	6,900
メリット+一般財源	7,500	7,500	6,900
決 算 事業費	4,743	9,799	3,185
メリット+一般財源	4,743	9,799	3,185

歳出	32年度	33年度
予 算 事業費	7,800	7,800
一般財源	7,800	7,800

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、目付(年 月)
無

(事業目的・概要)
区庁舎・区民利用施設に関する設備の修繕に対応します。

(根拠法令等)
横浜市庁舎管理規則等

(積算内訳) (単位：千円)

項目	本年度	前年度	増△減	説明
<区庁舎等>	750	1,100	△ 350	
区庁舎	100	200	△ 100	実績による減
駐車場			0	
行政サービスコーナー	100	200	△ 100	実績による減
公用車	550	700	△ 150	実績による減
(うち税務車両)	174	174	0	前年度同額
<土木事務所関連>	550	550	0	
土木事務所	100	350	△ 250	実績による減
車両	450	200	250	実績による増
<区民利用施設>	6,500	3,900	2,600	
公会堂	1,000	600	400	実績による増
地区センター等	2,000	1,500	500	実績による増
こどもログハウス	500	100	400	実績による増
老人福祉センター	1,000	100	900	実績による増
コミュニティハウス	1,000	600	400	実績による増
広場・遊び場	1,000	1,000	0	実績による増
合計	7,800	5,550	2,250	

資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	予算調整係
	齋藤 真奈美	松隈 さやか	磯田 直輝

(戸塚 区 - 修)

区民利用施設施設概要等一覧(委託・補助)

概要(戸塚)区

種別	事業目的・概要	根拠法令等	名称	所在地	構造	施設内容	管理運営団体	開館年月日
地区センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市地区センター条例	戸塚	戸塚町127	RC造地下3階地上4階 延床面積 1,776.1㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和53年10月11日
			大正	原宿 3-59-1	RC造地上2階 延床面積 1,881㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	昭和56年12月11日
			東戸塚	川上町 4-4	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,869.3㎡	中小会議室、料理室、工芸室他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成1年10月28日
			上矢部	上矢部町2342	RC造地上5階 延床面積 1,950㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者 NPOみんなのまちづくりクラブ・NPO建物管理ネットワーク	平成5年5月11日
			舞岡	舞岡町3020-1	RC造地下1階地上2階 延床面積 1,821.8㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者 公益財団法人横浜YMCA	平成10年5月30日
			踊場	汲沢二丁目23番1号	RC造地上2階 延床面積 1,775.2㎡	中小会議室、料理室、音楽室他	指定管理者 公益財団法人横浜YMCA	平成16年2月15日
こどもログハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	都市公園法第2条第2項 横浜市公園条例、横浜市青少年施設条例	踊場公園	汲沢 8-11	木造 2階建地下1階 205.33㎡	滑り台、登り棒、地下迷路他	指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成3年6月1日
老人福祉センター	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例	戸塚柏桜荘	戸塚町2304-5	RC造 地上2階建 延床面積1,669㎡	大広間・機能回復訓練室 生きがい作業室・会議室	指定管理者 社会福祉法人朋光会	平成2年6月14日
老人憩いの家	管理運営を管理運営団体に委託します。	老人福祉法、横浜老人福祉条例、横浜市老人憩いの家運営要綱	—	—	—	—	—	平成16年度で廃館
コミュニティハウス	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市地区センター条例	深谷小	深谷町1688-2	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成2年4月26日
			東汲沢小	汲沢 1-16-1	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月18日
			平戸台小	平戸町1165	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成4年4月30日
			名瀬中	名瀬町791-6	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成5年6月20日
			秋葉中	秋葉町271-3	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成9年4月30日
			柏尾小	柏尾町1317	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成11年4月24日
			下郷小	戸塚町2447-2	学校開放施設 概ね300㎡	中小会議室、和室他	公益社団法人とつか区民活動支援協会	平成13年5月1日
			倉田	上倉田町1867	RC造地上2階建 342㎡	中小会議室、和室他	指定管理者 社会福祉法人 開く会	平成18年10月15日
スポーツセンター	管理運営を管理運営団体に委託します。	横浜市スポーツ施設条例	戸塚	上倉田町477	鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建延床面積 3,975㎡	体育室2室、トレーニング室、研修室他	指定管理者 公益財団法人横浜市体育協会	昭和59年4月1日
子供の遊び場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	横浜市遊び場要綱	遣ヶ谷	上倉田町135	1,607.0㎡	ブランコ、シーソー	地元管理運営委員会	昭和50年
			子之八幡社	上倉田町977	366.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和36年
			新生会第二	汲沢 7-35-12	1,011.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和53年
			東明会	汲沢 2-17	221.0㎡	ブランコ	地元管理運営委員会	昭和54年
			品川団地	小雀町417	205.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和44年
			小雀	小雀町1193	1,980.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和29年
			名瀬一丁目	名瀬町272	231.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和38年
			名瀬町	名瀬町1773	201.0㎡	ブランコ、滑り台	地元管理運営委員会	昭和46年
			俣野町神明社	俣野町1277	600.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和46年
			舞岡台	南舞岡 4-15	1,470.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和49年
			踊場	矢部町1626	284.0㎡	ブランコ、滑り台	地元管理運営委員会	昭和37年
			谷矢部東	矢部町871-37	112.0㎡	滑り台、シーソー等	地元管理運営委員会	昭和62年
			矢部町(柳作)	矢部町970-2	276.0㎡	ブランコ、滑り台等	地元管理運営委員会	昭和62年
町のはらっぱ	地元管理運営委員会に対し補助金を支出します	横浜市広場・はらっぱ要綱 戸塚区広場・はらっぱ管理運営費補助金交付要領	三角広場	原宿 4-22	2,408.78㎡		地元管理運営委員会	平成5年
			打越グラウンド	吉田町1335-1	2,423㎡		地元管理運営委員会	平成18年
			星谷広場	舞岡町285番	1,230㎡		地元管理運営委員会	平成23年
シルバー健康広場	管理運営を管理運営委員会に委託します。	区シルバー健康広場整備並びに管理運営委員会設置要綱	川上第一団地	川上町406-6	1,461.25㎡	ゲートボール場	地元管理運営委員会	平成18年
			柏尾野外活動	柏尾町757	2,145.00㎡	ゲートボール場	地元管理運営委員会	昭和60年